

2024 年度

団体の運営資金などについて
アンケート結果報告



公益財団法人
コープともしびボランティア振興財団

(公財) コープともしびボランティア振興財団では、団体の運営資金の現状を把握し、将来的に自主運営をめざせるような支援のあり方を検討するため 2024 年度の助成先(183 団体)にアンケートを実施しました。ご協力ありがとうございました。

1. アンケート結果から

ボランティア活動助成を受けて活動している団体の 9 割以上が団体の主な収入源を当財団の助成金と回答しています。そのような中でも約 8 割が将来的には、当財団の助成金に頼らない自立した運営を意識していました。

また、当財団の助成金だけでなく、寄付金を募るクラウドファンディング、他機関の補助金・助成金への挑戦、会費・参加費の徴収、物品の販売など、様々な方法で運営資金を獲得しようとする工夫も見受けられました。

食材費などの物価の高騰、コロナウイルス感染症によるイベント等の減少が今も続いている中、イベントやバザーなどでの収益が減り運営を圧迫しているのが実情です。

財団としましては、他機関の助成金やサポート体制、資金獲得の取り組み事例など有益な情報を今後もお伝えしていきたいと考えております。

2. アンケートの概要

<調査の目的>

- (1) 団体が活動を継続していく上での運営資金の現状をヒアリング
- (2) 団体が将来的に自主運営をめざせるような支援の検討

<対象>

(公財) コープともしびボランティア振興財団から、2024 年度助成を受ける
183 団体

<期間・回収方法>

2024 年 4 月初旬～下旬、郵送による送付・回収

<アンケートの回収率>

183 団体中 174 団体 (回収率 95%)

目 次

- アンケート集計P1～

- Q3 資金面で困っていることP2～

- Q5 ともしび財団の助成金以外の運営資金確保について P9～

- Q6 運営資金を得る情報の入手先についてP15～

- Q7 参加したいと思うような情報交換の場について.....P19～

Q 1. 団体の活動内容（複数回答）

		(実数)	(%)
		回収数	174
		174	100%
1	高齢者支援	71	41%
2	障がい者支援	57	33%
3	多文化共生	12	7%
4	多世代交流	58	33%
5	子育て支援、子どもの健全育成	91	52%
6	防災・減災	22	13%
7	まちづくり・地域おこし	61	35%
8	環境活動	21	12%
9	食と農・食育	21	12%
10	女性に向けた支援	11	6%
11	がん患者・家族の支援	9	5%
12	不登校・ひきこもり支援	24	14%
13	その他	15	9%

Q 2. 団体の主な収入源（複数回答）

		回収数	174	100%
		174	174	100%
1	ともしび財団からの助成金	163	94%	
2	会費	98	56%	
3	寄付金やクラウドファンディング	28	16%	
4	他機関の補助金・助成金	101	58%	
5	自主事業	29	17%	
6	会費以外の個人負担	25	14%	
7	その他	23	13%	

Q 4. 当財団の助成金に頼らない運営を意識しているか

		回収数	174	100%
		174	174	100%
1	意識している	138	79%	
2	意識していない	36	21%	

資金面で困っていること

Q3. 貴団体が資金面で困っていることは何ですか？

■右の列の番号はQ1で回答された活動内容

1. 高齢者支援 2. 障がい者支援 3. 多文化共生 4. 多世代交流 5. 子育て支援、子どもの健全育成
6. 防災・減災 7. まちづくり・地域おこし 8. 環境活動 9. 食と農・食育 10. 女性に向けた支援
11. がん患者・家族の支援 12. 不登校・ひきこもり支援 13. その他

<福祉>

○食材費の高騰による資金不足 ○衛生費：ビニール手袋を食材が変わるたびにに取り換えるため、1回の会ごとにボランティア数×3~4枚が必要。店から支給してもらっただけでは足りない。布巾の消毒（各回当番が持ち帰って洗い、殺菌・アイロンかけが大変なため、コロナ後洗って使えるペーパータオルに変更） ○ラップやホイルなどの購入費など、目に見えない部分の購入費年々利用者との電話代がかさむので資金の算段。ボランティアの資質向上のための研修費用。	1
イベント数が多いので会場費の負担が大きく、会費や参加費で工面しているが、活動を継続することはかなり厳しい。	1
ボランティアの方々に負担がかかり、活動者への燃料負担がある。	1
毎月「メインテーマ」を確保するためのボランティアで来ていただける方々に、交通費だけでも出せたらと助成金を申し込んだ。例：ギター演奏者、オカリナ演奏者、ハンドベルの皆様など。	1
2024年度で初めて助成を受ける。神戸市からの助成も申請しているが、まだ入金はない。1年遅れになるので、会費100円では賅えず、個人から30000円借り入れて実施している。	1
今すぐ困ることはないが、今後参加者が減ってきたら、やはり助成金のありがたみがわかる。今もありがたいです。	1
コロナ禍以降、広い場所を利用しているため、会場費の負担が大きくなっている。参加費だけでの運営がむずかしいのが現状。	1
活動のひとつ「手書き年賀状を送る」ですが、今年秋より郵便料金の大幅値上げがあるようで、そのしわ寄せが「手作りゲーム」にいかないよう工夫が必要だと思っている。	1
会員から会費をもらっているが、それだけでは運営はむずかしい。	1
会員さんのお誕生日会、クリスマス会などのイベント資金がほしい。	1, 10
収入について：令和6年から参加者より会費を徴収しているが、参加人数が月によって増減し、収入額の予測がつきにくい状態です。そのため予算が組みにくく、会場費・消耗品費など必須のものについて優先して支出している。	1, 2
交通費とか印刷代などに費用がかかり、自費で補うことがある。	1, 2
始めて20年を越え、代表が82歳になる（この4月20日で）。教員をして退職金や年金があり、夫もいたのでこれまで何とかやってきたが、代表が引退したらどうなるか不安。カラオケ通信料が月19,800円。電気・水道・ガス・電話で2万~3万はかかる。ボランティアの謝礼も自費でしている。駐車場代は2台で8,000円払っている。1カ月の収入は5万円くらい。	1, 2
助成金申請してもおらない時、活動がストップしてしまう。	1, 2, 3, 5, 7, 12
事務用品費やガソリン代など、欠かせない経費が年間10~15万円程度必要。毎年ひやひやしなから会計運営している。簿記会計のできるメンバーがいないので、表計算ソフトで集計するのが精いっぱいなので、行政からの補助金を予算化してもらうよう要請することがためられる。	1, 2, 3, 5, 9
長い間冷暖費の助成をありがとうございます。もし、この助成金がなく全額カナリア負担となると、物価の上昇などにより活動費が増えている状況から、参加費の値上げも考えなければならぬ。しかし、今まで参加された方から、年金の少ない方が多いことを知り、できるだけ現在の参加費で活動を続けたいと考えている。活動費不足。	1, 2, 4
パソコンのインク代、先生のお礼。	1, 2, 4, 10, 11, 12
よい活動にするために準備や練習をする。その際の場所代や諸経費を計上できず個人負担を強いられることが困っていること。	1, 2, 4, 5, 10, 11, 12
イベント参加者に喜んでもらうため、能力のある方をお呼びしている。その中には、その能力で生計を立てている方がいる。今のところお金がないために、ボランティアとしてわずかな金額の謝礼をお願いしている。きちんと謝礼などを支払っていないことで心苦しく思っている。	1, 2, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 12
新たな活動を開始する時の運営経費。今回はこの面を助成していただき、展開がスムーズにでき感謝申し上げます。	1, 2, 4, 5, 7, 10, 11
5つの自治会エリアを走る路線バスの存続のための活動であり、各自治会から会費を集めている。通信発行印刷代が主な支出である。学習会やイベントを開催するだけの資金はないため、宣伝の機会に限られる。	1, 2, 4, 5, 7, 13
備品など、高額な什器などが故障や傷みなどが出ている。サロン、カフェなどは利益がなく、助成金などで充当しなければならない。	1, 2, 5, 6, 7, 8
食材費などの高騰による経費が増加しており、経営が厳しい。	1, 2, 5, 9

Q3. 貴団体が資金面で困っていることは何ですか？	
◎研修会の講師謝礼・交通費 ○活動時の会員の交通費	1, 2, 7
コープグループの立ち上げ助成でお世話になった。芦屋市の介護予防通い場助成事業で2年間活動費をいただき、昨年度助成が終了したため、社会福祉協議会のフードドライブでお菓子などを分けていただいた。今年度はパラソルの購入のためコープともしびボランティア活動助成を申請させていただいた。お子さんに参加してほしいので会費無料を継続したいと思っている。	1, 4, 13
地域の方にできるだけ金銭負担なく気軽に集っておしゃべりの機会を持ってほしいと思うと、資金は必要なので。	1, 4, 5
貴団体からの助成により集会所・公民館の会場費が賄えており、大変ありがたい。神戸市内の交通費が高いため、個人負担が大きくて、なかなか活動を広げられないのが困っている点です。	1, 4, 5
運営している地域の居場所は、空き店舗だったところを当団体で借りている。毎月賃借料が6万円、1年間72万円必要。現在は、まちづくり協議会助成金や自治会協力金を賃借料に充てているが、助成金は支給年数が限られており、また自治会協力金についても将来に不安がある。助成金などがなくなった場合に備えて、寄付金や利用者お茶代の剰余金を貯金しているが、数年分の賃借料にしかない。	1, 4, 5, 7
①他の機関（行政・企業）の助成金は1回受けると2回目以降は受けられないものがほとんどで継続性がない。②その点で、ともしび財団の助成金は継続していただけるのでとても助かっている。③今後ともともしび財団の助成金・会員の会費・参加者の募金の組み合わせでやっていきたい。	1, 4, 5, 7
食材費：物価高騰、参加者増加で増えている。	1, 4, 5, 9
会員は全員年金受給者なので、会費はできるだけ安くすることをモットーとしている。そのため収入金額には限りがある。	1, 4, 7
活動費の安定した確保。2020年までは尼崎市の助成金もいただいていたが、それがなくなり、コロナ禍の3年間もあり、2022年までは困窮状態でした。2023年は兵庫県阪神南ふるさとづくり応援事業をいただき、活動も活発に、催事も多く開催できました。今後も催事の企画で財源を得る必要があるが、会員の高齢化で思い通りにはいかない。	1, 4, 7
活動を支えてくださっている方の謝金をお支払いできたら、安定した活動ともっと活動をひろげられるのではとジレンマを感じている。	1, 4, 7
会場費負担があり、狭い場所で活動しなければならない。講師ももっと頻繁にお願いしたい。	1, 4, 7
今のところ助成金で運営できている。	1, 4, 7
助成金がないと活動がむずかしい。	1, 5
会場費用の負担	1, 5
研修などの際の講師料の捻出が厳しい状況のため、ボランティアで講師を依頼している。	1, 5, 10, 12, 13
参加者が少ないため参加費が集まらない。参加者を増やすためにチラシを作り配っているが、チラシ作りの費用が参加費で賄うことができない。	1, 5, 7
安定していないこと（年によって）	1, 5, 7
郊外型高齢化団地の集いの場所として発足したサロンは、パソコンとプロジェクタを併用したため、高価な設備負担が課題であったが、これらは助成金のおかげでほぼ目途をつけることができた。残された課題は、インターネット活用によるプログラムの進化と、会場費負担の軽減です。これらについては、2年間の運営経験をベースとして参加者増を図る対策を実行していく予定。	1, 7
交通費	1, 7
1. 弁当購入費と支払いが同額で、他の外注費など支払いに苦慮している 2. 利用者増に向け広報など	1, 7
設立当時は古着などを盆踊りの時出店してもよく売れ、それを資金に活動。手芸品などを作りそれをバザーに出してもよく売れ、よい循環をしていた。夏の盆踊りの時には食品（たこ焼き、綿菓子など）出店して、それを手伝ってくださることからボランティアの人も増え、よい循環を繰り返していた。コロナ後すべてがダメになり、本当に困っている。ボランティア参加者も少なくなり、でも活動を続け、音楽を通じてのつながりを続けていくためにともしびさんを頼っています。	1, 7
事前に交付していただきとても助かっている。それまでの間はいつもマイナスで、負担するしかなくて困っています。花見など参加者にお弁当代の一部を負担していただくが、コープのお弁当代一部を当方で負担したり、代表者は少しつらいです。笑顔を見たら吹っ飛んでしましますが…	1, 7, 13
・事務局兼がん患者などの相談・集いの場所としている拠点の維持費の補助がないこと。・活動を広げるにあたり必要な交通費の不足。	1, 9, 11
補助金、助成金の情報収集。	10, 11
コロナ以降、会場開催している定例会（講演）への参加者が減少傾向にあり、それに伴う参加費や会費収入の減少に困っている。	11
会費と勉強会の参加料しか収入源がないので、資金面で余裕がないこと。	11
今年度は3件から助成を受けられるように思うので、なんとか個人負担なくいけると考えている。毎年どうなるか不安はある。	12
コロナ禍で利用者数の減少があり、経費（交通費など）は必要で収入面で厳しいものがあつた。	13

Q3. 貴団体が資金面で困っていることは何ですか？	
毎月の活動時のボランティアメンバーの交通費が不足している。	13
○会費を納入してくれる会員数が年々減少している ○製薬会社や医療関係の企業からの寄付金を得られることもあるが、大学病院の先生などを招いた医療講演やイベント事業以外の通常の患者会運営に対しては、寄付対象にならないことが多く、コロナ以降多人数の集まる講演会やイベントが行えず寄付が減少している。	13
政令都市、中核都市では要約筆記を学ぶ講座が開催されている。規模の小さい芦屋のような市では市民向けの講座がなく、芦屋サークルの新しい参加者は基礎からしっかり学ぶ機会が少ない。そのため県の難聴者協会から講師を招き研修をしているが、サークルにとっては講師料が負担。	2
手芸作品のデザイン・縫製・仕上げを外注しているが、当サークルの会費だけでは賅えていない。他機関の助成金にもチャレンジしたいが、時間的に余裕がない状態です。	2
今はパソコン点訳が主で、まだ古いタイプのパソコンを使用している方もあり、修理しながら使用しているのが現状。順次安い中古パソコンを探して更新しているところです。新しく入りたいと言われる方でパソコンを持っていない方もおられるので、少しでも補助ができるとう新しい方にもすすめやすい。	2
毎回ぎりぎりの資金で運営しており、会費を値上げするかどうか検討している。また、他機関の助成金の金額が減額になっている。	2
活動を広げていくため社会のニーズに応じていくと必然と資金が必要。セミナーの回数や相談会など増えていくため、資金がかかる。	2
会員がほぼ高齢者で年金生活の方が多。会費の値上げはしにくいので困る。	2
○昨年度まで開催されていたしあわせの村点字講座が今年度より中止になり、講師派遣料が入らなくなった（収入の3割）。 ○高校の統廃合により部活動が中止。講師料が入らなくなった ○点字本を作成するためにパソコンや点字印刷機を使用。その機材のメンテナンス。 ○買い替え料が高額であり、用紙・インク代も必要。そのため会費だけでは賅えない。	2
点訳には、原本の購入や点訳データチェックのために印刷用紙、インクカートリッジが必要。本やインクカートリッジは安いものではなく、費用を抑えるために工夫が必要。	2
養成講座などでボランティアを増やし、テキストデジタイズ図書製作活動の充実を目指しているが、製作に必要な編集ソフトがまだまだ高価であること。受講生の人数分のソフトが必要となるので、受講を希望する人が多くても受け入れられないこともある。	2
人数が少ないため、会費総額も小さい。	2
例会や聴覚障害者、地域の交流などに必要な会場費などの諸経費を確保すること。	2
助成金をいただいても基本的な活動で資金を使い切っており、資金は不足している。	2
会員の半数が体調、高齢、遠距離の理由で定例会への参加ができず、会費は残りの会員のみ徴収する。 また、市のまちづくり応援助成、県民ボランティアも年々減額傾向にある。通常は大きな出費はないが、点訳についての新しい教本が出たとき、新しいことを学ぼうとするときは、会員全員が新しい情報を共有して点訳しなければならないので、教本を人数分買うなどの支出が考えられる。	2
点字印刷機、パソコンが故障した場合、補助をしていただければ助かる。	2, 13
参加者が経済面で困窮している方が多く、参加費は実費のみで構成している。コーディネート費や諸経費の運用が課題になっている。	2, 3, 5, 9, 10
主な事業が子ども関連のため、参加費や利用料などの設定金額を高くしづらく、1つの事業・企画からの売上が少ないこと。そのため、人を雇わずできることに限りがあるため（規模など）、1つの企画を大きくするのもむずかしく…	2, 4, 5, 12
障がいのある子の親が中心の会で、学校の送迎・療育・通院や入院などもあり、定期的な事業が確約できないため、年会費の徴収がむずかしく財政基盤が弱い。助成金の申請にも時間と労力が必要で、事業の必要性は感じていても資金不足で開催できない。共働きでないと家計が立ち行かない家庭が多いなか、助成金はメンバーの人件費を支出できないものが多く、活動に時間を割けない（収入を得られる仕事のほうに比重を置かざるを得ない）という悩みもある。	2, 4, 5, 13
私どものプロジェクトでは、特に講師への謝金が大きな財政的負担となっている。講師は専門的なスキルを提供しており、その質を維持するために適切な謝金が必要である。このため、講師への支払いを削減することは困難であり、資金調達の際の主要な課題となっている。安定した資金源の不足がこの問題をさらにむずかしくしており、支援や資金調達の方法を模索している。	2, 4, 5, 7, 12
継続的な学習会を開催したいが、講師料などの財源が厳しい。	2, 4, 6, 12
対象がいわゆる社会的弱者とされている方々であるため、収益事業を行うということが非常に厳しい。結果、助成金頼りになってしまい、事業継続に苦戦している。	2, 4, 7
いい講師の先生に来ていただくと、それなりの講師料を払わないといけない。ともしび財団の講師料は上限3万円なので、他の助成金を考えたりしないといけない。	2, 5
事務所使用料	2, 5
市民対象講座でボランティアで手伝ってくださった方に交通費を払えたらお渡ししたいが、対象となる補助金・支援がなくて悩んでいる。	2, 5

Q3. 貴団体が資金面で困っていることは何ですか？	
必要な機器がなかなか揃わない。費用が多く必要な活動がむずかしい。	2, 5, 12
当事者のボランティア団体なので活動を充実していくために、講師・会場の使用などの工面が年会費だけでは不足になる。助成金に頼らざるを得ない。	2, 5, 7
ここ数年ある民間会社より「起立性調節障害」の相談ブースの担当団体として来場の人への対応をしてほしいという依頼を受けてきたが、開催地が和歌山、堺、奈良、京都の時があり、交通費支給を相談したが出ず、団体として意義のある場として捉えてはいるが、資金面で負担を感じているところ。	3, 12
1. 日本語教育及び学習支援のためのテキストを各自に配布できず、コピーで対応しているの で、ワークブックや書き込みが必要な冊子は各自に配りたい 2. 小学6年生、中学3年生の卒業 時に、卒業生たちに修了式で記念品を渡したいができない 3. 遠方よりの支援者に交通費を支 給できない	3, 13
賛助会員が思ったように集まらず、会費の収入が少ない。そのため、運営に必要な機材の購入が 困難である。現在は、メンバーの個人所有のプリンターを使い、資料やチラシなどの印刷をして いる。	3, 5, 7
自宅での活動のため、光熱費が個人負担になっていること。イベントで必要経費（プレゼント・ 畑づくりなど）が資金不足になっている。	4, 5
活動を知ってもらうため時代に合った告知をするためには、パソコンでもあったりするので、そ のような機械の維持費や環境を整えるためのものに困っている。	4, 5, 12
人件費に充てる費用捻出がむずかしく、ボランティアや食事の提供などでお願いしている（今は それで回っている）。企業の寄付金は今のところなく、物資や場所の提供で支援してもらって いる。	4, 5, 7
団体を立ち上げて間もないため、金額の張る備品関係を備えていきたいと思っているが、備品は 助成対象外であったり、金額の上限が低かったりしてなかなか購入できないでいる。	4, 5, 7, 8
・参加者からいただく費用を多くする（値上げすること）ができず、不安定な運営となっている ・運営メンバーはボランティアでの協力により成り立っているが、人手に資金を回すことができ ず、いわゆるパイト的の人員を確保できないことに困っている ・銀行手数料、クレジットカード 手数料の負担が重い	4, 5, 7, 9
会場費：全世代を対象とした場合、土日開催が中心となるので、空き会場を探すことと、探した 会場の費用が計画以上に膨れ上がったりするので、リーズナブルな会場があればいつも困って いる。	4, 5, 7, 9
会費の金額をどの程度までにすれば会員が増えて納得してもらえかが分からない。イベント参 加費なども同じ。	4, 7
ボランティア謝金、交通費、人件費の支出がむずかしい点。	5
財団の助成金は集会所（製作活動）に使わせていただいているので、会場費のみをお願いをしたい と考えた。しかし、コロナ禍を境に使用中止や時間が制限された。昨年より5類相当に移行され てからも、本来の4～5時間に戻してもらえず、何度交渉しても「ありえない、乱れる」の一点張 りで、やっと昨年末12月より3時間可能となった。財団説明会の折には、本来のやる気持ちを申請 しなさいと助言され、従来通りの申請を続けたが、残念ながら近年返金ばかりの繰り返しで疑問 に感じ、困惑し続けている。	5
参加費はわずかであり、スタッフの交通費に充てる金額にもならない。おもちゃも補充したいと 思うが、資金がない。	5
おやつ作りの材料（小麦粉、砂糖、タマゴ…）の値上がりのため、なかなか思うようにできな い。	5
講師料がかかること。講師を依頼する際、遠方の方ですと、交通費などの負担もあるため、近隣 の方に限られてしまう。	5, 10
ともしび財団からいただいている資金で現在は活動している。マンパワーが増えると活動も広げ られるが、活動できるマンパワーの増加がないため資金は現状で賄える。	5, 10
謝金、講演など講師に支払うのが一人当たり3～5万円が平均になっており、交通費なども含め ると金額が上がり、依頼したい講師の方がなかなか呼べない。	5, 12
ボランティアスタッフの確保・継続性	5, 12
会場費、食材費	5, 12
営利目的でやっておらず、ボランティアで活動しているため団体としての資金が少ない。2022年 に立ち上げた団体で、全員このような活動は初めてであるため、助成金など資金面の運用にはま だまだ慣れておらず手探り状態です。	5, 8, 9
ほとんどボランティアなので、会費以外の収入を得ることがむずかしい。ガンの患者さんは治療 に高額な費用がかかっているため、会費や参加費、交通費の負担をできれば少なくしたいので、 人数が増えてうれしいが費用はかかっている。	7, 11
<まちづくり>	
基本的に地域ボランティアの一環で活動してきたので、「無償」での活動としてきた。物価高騰 もあり、助成金や自治体からの援助では規模の縮小になりつつある。	1, 4, 5, 6, 7
あまり困っていない。自分たちの身の丈以上の活動は考えていない。強いて言えば、助成金額が 毎年変動すること、目標を金額に合わせざるを得ないこと、ともしび助成金の使用費目が我々の 活動に合っている。現状では活動を運営していきたい。	1, 7

Q3. 貴団体が資金面で困っていることは何ですか？	
団体の性質上、収益に繋がる要素が少なく自立するのがきわめて困難。「ルミナリエ」や「神戸1.17を忘れないで」すら苦勞していると聞く。助成金や寄付などの支援がないと活動が成立しないところで大変苦勞している。	4, 5, 6, 7
○人件費：ワークショップで、子どもたちにできるだけいねいに手厚くサポートしたいので、スタッフに多めに参加してもらおうと、どうしても人件費がかかってしまうこと（交通費も）。 ○材料費：ものづくりワークショップで、できるだけ良いもの・良い素材のものを使って子どもたちにもものづくりの楽しさ・魅力を感じてほしいので、費用がかかる。また、昨今の物価高で材料費も上がっており、以前よりも厳しい。気軽に本格的なアート・ものづくりを体験してほしいので、助成金はとても助かっている。今年度もありがとうございます。	4, 5, 7, 13
団体の人数が多くなっているが、資金は限られており、資金の拡大が間に合っていないこと。	7
<防災>	
人件費の確保	4, 5, 6, 7
「防災はタダではない」、そう広く知ってもらいたい、主に行政が担ってきたため、タダで教えてもらえるという認識も根強い。そのため参加者から、妥当な金額の参加費を徴収しづらい。活動が助成金頼みになってしまう。	6
今現在は、貴団体からの助成金をはじめ、他の収入もあわせて安定した活動を続けている。ただ、その全てが今後も常に安定した収入になり得るかどうかはわからない。通常の勉強会や定例会の開催に加えて、定期的な朗読会や研修会などを実施することになった場合の資金確保をどうするか…今後の課題となりそうです。	6
<人権>	
○オンラインイベントで広く参加者を募りたいが、技術的などところで業者に助けを求めると費用が高くなる。 ○コロナが5類に移行し、精神科病院の面会制限も緩和され、面会希望が多数寄せられるようになった。それに伴う費用（レンタカー代、ガソリン代、高速代、電車代など）が増加してきている。	2
<多文化共生>	
1. 施設の活用を高める広報に関わる費用 2. ぶらり立ち寄る時の接待に関わる費用	1, 2, 4, 6, 7, 8, 9
現在3カ所の賃貸物件で活動しているため、その家賃負担が大きい。	1, 4, 5
食材の値上がりのため運営費が増額している。自然災害により農作物の収入が減少すると、寄附でのご提供も見込めなくなるため安定的ではない不安がある。	1, 4, 5, 6, 7, 9, 12
私たちの活動はカフェの他に「エクササイズプログラム」「カルチャープログラム」「音楽プログラム」を3本の柱に、講座（セミナー）、コンサート、イベントを開催している。なので、講師料、演奏料などの捻出に苦勞している。参加費の値上げなどのアドバイスをいただいたが、参加者を増やすことを考えているが、なかなかむずかしいところです。	1, 5, 7
きりり助成金をはじめ、いくつかの団体様にも助成金をいただいている。現在いただいた資金で運営できるように食材なども工夫しているが、日々物価が上がり、今後どのようになっていくのか不安な面がある。	2, 4, 5
安定的な自主財源の確保ができていない。任意団体の限界と言ってしまうまでもうだが、我々の努力不足だと思う。ミャンマーを課題にしたインキュベーターの役割を当団体の役割と認識しており、新しい課題、新規事業領域の創出のための最低限の資金の確保は必要であると思う。	3
参加者が広域から集まるため交通の便がよい会場となると、会場費の安いところが少ないため、貴財団の助成に会場費を頼っている。	3, 4
・留学生は学費を稼ぐためにアルバイトをしているが、貧困状態で相談に来る電車代がないので交通費の助成がほしい ・ボランティアスタッフの交通費や謝金を考えないといけない ・メールや電話対応が多すぎて全て記録できない ・外国人支援の助成金が少ない	3, 9, 12
<子ども育成>	
①スキル向上のために講師を呼んで研修したいが、会員向けの講習だと講師代が助成金対象外になること。オープンセミナーにするといろいろな負担が増えてしまうため、今年は会員とロコミによる紙芝居仲間の参加のみに限定したが、助成外となってしまった。 ②当会は高齢化がすすんでおり（平均年齢71歳）、公演先までタクシーを利用する必要がある場合もあり、交通費がかかること。今は本人負担。しかし、高齢になっても生きがいのため長くボランティア活動を続けられることは大切なことだと思う。	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7
①コープともしびボランティア振興財団の助成金 ②ひょうご子ども・若者応援団助成金…この2件をメインに活動していた。その他に③県民ボランティア活動助成金 ④尼崎市社会福祉ボランティア活動助成金からもいただいている。②のメインだったひょうご子ども・若者応援団助成金をいただけるのが本年度最後となる。助成金を受けられなくなると、じいちゃんの手づくりおもちゃは大変です。どこか助成金を受け取れるところはないか探している。	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12
年に6~7回は絵本おはなし会や他団体との共催の「おはなし会&紙芝居」の催しをしているので、チラシづくりのコピー代は欠かせない。事務用品（マジック、色画用紙、本の修理やブックカバーのカバーづくり代）などが必要。以前は、おはなし会をしていただいているプロの講師の方に依頼をしていたが、資金的に少し高かったのと、コロナ禍でこのところはやっていないから、専門の方に一度おはなし会をお願いしたいと思っている。	1, 2, 3, 4, 5, 7

Q3. 貴団体が資金面で困っていることは何ですか？	
フードパントリー（生活用品など）用の資金が足りない（必要な人に必要な品を渡せていない）。食材や材料費（容器など）の高騰により、手分けして安く販売しているところを探しているが、ほしいものがなかったり、値段が行くたびに少しずつ高くなったりと困っている。	1, 2, 4, 5, 6, 7, 9, 10, 12
ともしび財団や他の助成金をいただいているので、グループの運営ができている状態。助成金が少ないと経費をかなり抑えながらの活動になってしまう。	1, 2, 5
文庫なので新刊の本や大型絵本・紙芝居など本を補充していくための資金が欲しいと思っている。	1, 2, 5, 7
おもちゃ病院の事業活動は基本的に無償修理なので、運用面では常に不安があるなか、部品の高騰（単純な値上がり）、構成部品そのものの高度化に伴う単価アップ。	1, 4, 5, 7
公演場所によっては、荷物の運搬費やメンバーの交通費が、公演依頼者からいただく額では足りない時がある。	1, 5
人件費に使える助成金が少ない。	1, 5, 7, 9
子ども食堂の運営以外に収益のある事業がないため、助成金の採択により活動内容に差が出る。設備に使える助成金が少ない（例：エアコンが故障しているので夏場の運営が苦しい）。	2, 4, 5, 7
行事保険に加入しているため支出が増えてしまうこと。子どものみ（小学生）、また障がいのある子ども遊びに来ることもあるため、保険加入は続けたいと思っています。	2, 5
読み聞かせのための音読のスキルアップをするために、講師を招いて研修を継続的に行いたいと思っている。しかし、会場費、講師への謝礼金・交通費が必要なため年1回の実施が精いっぱいである。研修に関して資金がもう少しあればよいと思っている。	2, 5
農作業で使う資材は高騰しているものの、参加費は値上げしたくない思いがあり（経済的な理由による子どもの体験格差を生みたくない）、助成金や自己負担による運営になっている。そのため、他機関からの助成も得られるようにしたいが、日々の仕事と活動がある中で、書類作成の時間をこれ以上捻出することは現状厳しいと感じている。	2, 5, 8, 9
子どもゆめ基金の助成をいただいているが、対象にならない経費がある。神戸市北区では子どもに高額な参加費を払える家庭が少ないので、どうしても助成金に頼ってしまう。	4, 5
気軽に来ていただけるように利用料無料にしているが、おもちゃの電池など消耗品に費用がかかること。	4, 5, 12
2021年9月より、豊岡市城崎町にて月一度子ども食堂を開催している。現在では、会食形式での食事提供を原則とし、子育て世帯や一人暮らしの高齢者世帯を中心に、70～90食の昼食を提供している。こどもたちに無償または低額で食事を提供するという子ども食堂の性質上、こどもの利用者が増えれば増えるほど、収支のバランスが取りづらくなる。また、昨今の物価上昇により、食材や衛生用品などにかかるコストも増加している。そこで、今後も子ども食堂を安定的に開催・運営していくため、恒常的に資金の確保、経費の節減に努めていく必要がある。	4, 5, 6
・他機関の補助金の入金が8月以降であるため、年度頭部の運営資金が不足しがちである。・運営資金を役員が立て替えていたが、運営費を積み立てることで解消している。・会員増加により、そのバランスを取るのがむずかしい面がある。・活動を広げ会員を増やしたい（子どもの活動を広げたい）が、そのためには運営資金が必要で二律背反の面がある。・任意団体の限界を感じる。	4, 5, 6, 7, 9, 13
ひろば文庫の核となる絵本が買えないこと（小さい子が読むので傷みやすい、本の値段も上がっている）	4, 5, 7
家庭文庫をしている。新しい本もリサーチしながら購入している。特に小学生向けは購入費がかかる。工夫しながら貸し出ししているが、児童書を新しくしていきたい。	4, 5, 7
助成金や補助金でほとんどすべての収入を賄っているため、交付されるかどうかで活動が継続できるかが決定してしまう不安がある。	4, 5, 7, 9
子ども食堂の利用者増、物価高騰における食材費、消耗品の購入費不足。また、食材配布も行うが、物資を引き取り配布していく際の交通費。	4, 5, 9
公演のたびに団員の交通費が多くかかる。公演先で謝金をたどくことができるが、とても賄うことはできない。	5
活動回数が多いため、メンバーの交通費がかかること	5
なるべくいただいた助成金の範囲内で活動することが、私たち団体活動の大きな主旨でもあるが、時にボランティア精神に甘えて個人負担になることもある。	5
継続的に補助金がいただけるかどうか	5
助成金の使途の大半が読み聞かせ活動に必要な書籍の購入なので、助成金の減少は新たな書籍の購入ができないなど、大変大きな痛手です。	5
新しく拠点を借り、家賃を毎月42,000円支払っている。どこからも家賃は出ないので困っている。食材費や材料費などが対象の助成金はあるが、維持費・人件費が対象のものはない。子ども食堂は拠点がなければ基本的にできない活動なので、どこの子ども食堂も困っている。	5
○不登校の正しい理解と支援のために講演会や勉強会を増やし、また周知のためのイベント開催もしたいと思っているので資金が必要（講師料・お手紙印刷 他）。○アートセラピー、園芸セラピー、アロママッサージなどのワークショップ：参加者親子が笑顔になれるようなイベントも考えているが、できるだけ参加費を無料にしたい（不登校になると、経済的負担が大きくなる。昼食代・フリースクールや居場所の利用料、習い事、お出かけなど）。	5, 12
ひとときおしゃべり会開催場所の会場費の捻出。	5, 12

Q3. 貴団体が資金面で困っていることは何ですか？	
年々貴団体だけでなく、社会福祉協議会などの助成金も少なくなり、会場費や活動上必要な材料費などが制限されるようになった。	5, 7
<食と農>	
①講師に支払う講師料の確保 ②食材費高騰による支出増 ③ボランティア確保のための交通費・昼食費などの確保	5, 6, 7, 9
<環境>	
構成員の減少に伴う会費収入の減少。	1, 8
当団体の主な活動である里山保全活動では、チェーンソー・チップパーなどを用いた作業を日常的に行っている。これら機材の動力源としてのガソリン・オイル費用、また故障に伴う修理費、事故発生時の保険に関する費用は必要なものであり、ともしび財団はじめ数カ所の機関から助成金を受けて活動している。今後自主財源の確保について考えていきたい。	2, 5, 8, 9, 12
ボランティア活動のため会費を取りにくい反面、毎年いくらか経費が発生すること。	4, 8
・市民に広く活動を紹介したいが、広報費用が高くなった ・市民啓発学習会を持ちたいが、講師料があるので何回もできない	5, 6, 7, 8
結成21年目を迎え、施設・設備・用具などが老朽化している。可能なものについては修理や改良を加えながら使用しているが、それには限外がある。通常の活動費以外にテントや長机などを新しく購入する費用を捻出するのがなかなかむずかしい。	5, 8
・継続的な資金の確保 ・定期的に消耗品や器具の購入が必要となる	6, 8
貴財団以外の助成金事業も基本的に単年度ごとなので、なかなか中期的な展望を描きがたい。	6, 8
会費を徴収したいが、そうすると参加者が集まらないという不安がある。ビブスを作りたいが、現在の資金ではきびしい。	6, 8
収入源はQ2の①当財団からの助成金 ②会費 ④他機関の補助金・助成金がすべて。助成金額の変動は活動内容に影響する。	7, 8
まだ活動の一步目を踏み出したばかりなので、これからの活動で見えてくると思う。	7, 8
新しい教材やプログラムづくり、情報交換（環境問題の現状や行っている学習会のふりかえりなど）のために、月に1回メンバーが集まっているが、メンバーが姫路・神戸・西宮・大阪府池田市・茨木市と広範囲に住んでいるので、交通費が合計5,920円/回かかる。12回集まると70,000円。学習会当日の交通費は依頼元からいただいているが、ミーティングの交通費は講師料から捻出している。教材づくりにも資金が必要で、活動を充実させようと頑張っているが、なかなか苦しい状況。	8
電動草刈機の新規購入、高木伐採の外注委託費など、管理維持費で4年目以降に新たに発生する費用。	8

ともしび財団の助成金以外の運営資金確保について

Q5. ともしび財団の助成金以外の運営資金確保について、新たに始められたことや今後考えていること

■右の列の番号はQ1で回答された活動内容

1. 高齢者支援 2. 障がい者支援 3. 多文化共生 4. 多世代交流 5. 子育て支援、子どもの健全育成
6. 防災・減災 7. まちづくり・地域おこし 8. 環境活動 9. 食と農・食育 10. 女性に向けた支援
11. がん患者・家族の支援 12. 不登校・ひきこもり支援 13. その他

<福祉>

ひょうごボランティア基金、県民ボランティア活動助成からの助成も考えているが、コロナで活動できなかったため活動実績が足りず、この2年間はかなり苦戦している。食中毒やのどづまりなどの事故を起こさないよう衛生面、調理面に注意をするにはお金もかかるので大変である。	1
参加者を増やし参加費の増収を図ろうと広報に努めている。歌のイベントや朗読カフェなどサロン室では手狭になった。イベントは隣のA会議室に会場を移し増収につなげている。	1
町の助成金も視野に入れている。	1
「神戸市つどいの場支援事業」に申請している。会費100円から200円に値上げした。	1
講師を招き歌や楽器、その他行っているが、運営資金が確保できなければそれを中止するしかないと考えている。	1
現状維持でやっていけたらありがたい。うたごえコンサートなど単発に開催して参加者にPRして来ていただくと、資金の確保につながるかと思うが、今のところは計画中。	1
参加人数を増やす努力をしていく。	1
兵庫県民ボランティア活動助成金の申請を考えている。	1
会員数及び一人当たりの会費を考えてはいるが、会費の値上げは今のところむずかしい。	1, 10
令和6年度から利用者・スタッフともに会場費を支払うことにした。	1, 2
参加人数を増やすことで1回の収入を増やす。チラシを配ったりして宣伝している。	1, 2
現在ランチ、カラオケ、マージャンに参加している人たちが集まり、意見を聞く機会を作りたいと思っている。	1, 2
助成金以外の確保を検討していきます。	1, 2, 3, 5, 7, 12
2023年度はキリン福祉財団から助成金を得ることができた。ただし、単年度限りの助成が原則ということで、新たな助成団体を探さなければならないと考えている。「食品ロスの削減」という原点に立ち返って、寄贈食料品を増やして、生活困窮世帯への支援食料品を買い足さなくてもよいようにして経費削減を目指す。	1, 2, 3, 5, 9
具体的には考えていない。困ったときは皆で話し合っていくつもり。	1, 2, 4, 10, 11, 12
社協やボランティアセンターからの紹介で助成金確保の努力をしている。	1, 2, 4, 5, 10, 11, 12
兵庫県ボランティア活動助成金を受けている。また、神戸市内の「地域課題に取り組むNPO等補助金」を検討している。しかし、助成金に頼らない運営が必要。そのためにイベント内容に見合った会費の見直し。また、むずかしいが、地域の中でお金が回る仕組みの事業展開ができないか検討中。	1, 2, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 12
有償ボランティア活動「お困りごとお助け隊」の事業拡大。この生活支援活動を拡大していき、資金確保し、次の新しい活動経費を生み出していきたいと考えている。	1, 2, 4, 5, 7, 10, 11
バザー（手作り品販売）、行政との連携を引き続き行う	1, 2, 4, 5, 7, 13
・カフェ内で不用品持ち寄りバザーなどを常時開催していく（服飾品を低価格で提供） ・備品などは助成金制度を利用していく（赤い羽根、みづほ財団、24時間テレビなどの制度を利用したい）	1, 2, 5, 6, 7, 8
2023年6月に、1食500円→550円に値上げした。食数の多い事業所（学童保育）からの受注も受けるようになったので、多少利益が出るようになった。備品などの故障など急な出費にも対応できるよう適切な額をプールしておきたいと考えている。	1, 2, 5, 9
私たちの活動は個人宅へ出向いての活動であり、無償です。今後、会員が増えれば、施設などへの活動は交通費程度の有償として活動する。	1, 2, 7
備品については地域住民の方から寄付していただいたり、すでにフードドライブのお茶・お菓子をいただいたり、他の助成金の利用ができないか生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）に相談している。認知症カフェについては、芦屋市からの補助はなく（他市では市からの助成金あり）、昨年新たにできた認知症カフェ連絡会で相談・要請していきたい。	1, 4, 13
毎年発行している広報紙で、地域住民に寄付金募集を呼びかける予定。クラウドファンディングなども利用できるか、今後検討していきたい。	1, 4, 5, 7

Q5. ともしび財団の助成金以外の運営資金確保について、新たに始められたことや今後考えていること	
①イベント参加者に「100円募金」を呼びかけている。 ②作品展では出展者から1人1000円の協賛金を集めている。	1, 4, 5, 7
○まだ新たに始めたことはない ○社協から食材提供の声かけをしていただくときがある。ただ、開催日と野菜のタイミングが合わない時がある。食材の調達、料理方法など、工夫できることを考えてできればと思う。	1, 4, 5, 9
新たに始めたことはないが、出演者の謝金のないものや少額の団体を検討している。	1, 4, 6
考えていること：①ボランティア活動で謝礼があれば遠慮せずもらう。 ②他団体の助成金も申請する（なかなか厳しいのが現実）。	1, 4, 7
貴助成金が最も頼りにしているところだが、地域ボランティア活動への理解ある他団体の支援は今後も探していくことになる。また、自主企画での資金確保も今一度頑張っていきたい。	1, 4, 7
会員に年会費をいただく（利用料とは別に）。皆さんと作った作品の販売など。	1, 4, 7
現在月1回程度募金箱を置いている。新たな資金確保方法は考えていない。	1, 4, 7
カフェや体操など定期的な開催できるように会費制の団体を作りたいと考えている。NPOの立ち上げなどを将来的に検討したいと思う。	1, 4, 7
今の活動を安定させていくことで、NPOなどの法人化することで、補助金の確保ができる団体に成長させていきたいと考えている。	1, 5, 10, 12, 13
参加者を増やすためいろいろなレクリエーションを考えている。バイオリン演奏と絵本の読み聞かせ、地域包括支援センターの協力で学習会。	1, 5, 7
自主事業で賄っていくこと（カフェの収入や参加費）。	1, 5, 7
昨年より、猪名川町住民提案型まちづくり事業補助金に応募し何とか採用された。毎年応募し厳しい審査を受けるが、本年も応募します。審査員の指摘事項なども取り込み、楽しいサロン継続の方策を検討していきます。	1, 7
ふれあい音楽会は婦人会の給食の後の活動とするようになり、活動場所の使用料、演奏者への交通費などは婦人会のほうで出していただくようにしている。ただ音楽演奏のお手伝いはボランティアとしている。	1, 7
「コープともしび」と「県民ボランティア」から助成金をいただいている。その都度必要なもの、不足しているものを購入しているが、大変助かっている。今の助成金で十分なので、新しい資金の確保は考えていない。これからも助成よろしくお願ひします。	1, 7
出向時いつもボランティアでしたが、交通費出しますとの申し出があれば、運搬費や家人の都合が悪い時タクシーを使用するのでいただいてもいいのかなあと（先方より1人500円とのこと）考えている。先日、老人ホームで40名参加とのことで、楽器や棒、お手玉、その他40人分は重たくて、スタッフ皆高齢のため自転車は危険なので、タクシーを1回200円を250円に値上げ、またはお茶持参に変更とか皆で検討中です。会計担当、来年はできますか？と不安感強いです。	1, 7, 13
・他所の助成金の確保 ・本年度太子町提案型協働事業に応募し採択された	1, 9, 11
趣旨に賛同いただける企業・個人からの協賛金の依頼をするために他団体と交流をしていく。	10, 11
従来の定例会、女子カフェ以外に寺を会場にしたサロン開催も検討中。会場開催をズーム開催に移行するなど。	11
○患者勉強会は講師料、会場費が必要であるため参加費を500円集めている。勉強会の内容の充実や広報に力を入れて、たくさんの方に参加していただけるようにしていきたい。 ○多くの方に会の存在や活動の内容を知っていただき、会員を増やしていきたいと思っている。	11
三木市ひきこもりサポート事業の補助金募集に本年度応募します。	12
やはりたくさんの方の利用者に来ていただくように、広報とメンバーのモチベーションの持続とチームワークです。	13
毎年、炎症性腸疾患の日（IBDデー）に姫路城の紫色ライトアップイベントを行っているが、炎症性腸疾患以外のカラーライトアップを行っている患者団体と連携して、姫路城のライトアップ写真のカレンダーを作成し、有料配布して資金を集めることを考えている。ともしび財団の助成金にはピンクリボンデーに姫路城をピンクにライトアップしている「ピンクリボンひめじ」さんも参加されているので、交流できればと考えている。	13
新たな取り組みはないが、機器購入など必要となった場合、社協からの案内で他団体の助成を受けたことがある。	2
さまざまなボランティア基金を探してる。毎回ゲストをお呼びし、参加者が増えるよう努力している。	2
・点訳終了後の本をバザーやサークル内などで販売 ・地域イベントやバザーに参加 ・学校の授業へ講師派遣	2
助成金の募集情報などにより注目していきたいと思う。	2
従来公的資金も得ていた。これからは公も民間も検討します。	2
・会員の学習代、学習会の一部を有料にすること。 ・バザー。	2
当面他の助成金を活用したいと思っている。	2

Q5. ともしび財団の助成金以外の運営資金確保について、新たに始められたことや今後考えていること	
特に新しいことを考えていないが、過去には木口財団から助成していただき、タイプライター2台（ライトプレーヤー）を購入したことがある。必要な時に検討したいと考えています。	2
クラウドファンディングページの登録。会費や参加費の回収に予約サイトを使用することは可能か検討したい。	2, 3, 5, 9, 10
神戸市内の地域課題の補助金は2024年度3回目の申請（今回で終了）。自主事業を少し広げる。	2, 4, 5, 12
・すでに運営中のてらこや（学童保育）内でイベントを増やした（遠足や公園あそびなど）⇒利用者増のため。 ・中高年向けの講座など企画（税金一人暮らし、メイクなど自立の助けになるような内容）⇒多世代認知増のため。	2, 4, 5, 12
今年度新たに共同募金配分金・公募型助成など2つの助成金に応募し、交付決定を受けた。今後は一般の方からの寄付を受け付けられるしくみを作れたらと考えている。	2, 4, 5, 13
助成金以外にも複数の資金調達方法を探求している。具体的には、地元企業とのパートナーシップを設立し、スポンサーシップの形で支援を受ける計画です。また、クラウドファンディングを利用して、広範なコミュニティからの少額寄付を募り、プロジェクトの可視性と支持を拡大しています。これらの方法で必要な資金を確保することを目指している。	2, 4, 5, 7, 12
今年から県社協の助成金も申請している。	2, 4, 6, 12
少しずつ物品販売なども行うようにしている。企業スポンサーを探すように助言をいただくことが多いが、手立てがない。法人化を検討しているが、メンバーには運営資金がかかるだけだというような消極的意見の人が多い。	2, 4, 7
宝塚ボランティアプラザzukavoでの助成金も検討	2, 5
兵庫県と共催で開催している活動があるので、県のほうと相談してすすめている。アレルギーに悩む患者家族のための支援団体の助成金に応募し、助成金をいただいた。	2, 5
・その他の助成金申請の挑戦をしていく ・必要な物品が揃えば落ち着くと考えている	2, 5, 12
2023年12月8日に長年発行を夢に描いてきた『起立性調節障害についてのQ&A集』を発行した。この収益金はまだ起立性調節障害の周知が低い地域への周知・理解の活動の運営資金として活用するという目的を持っている。2025年度ぐらいより目的を持ち活動を目指したい。	3, 12
我々の活動を光都の住民に理解してもらい、賛助会員を増やしたいと思っている。現在は小学生と中学生を対象とした活動が中心だが、これからは高齢者の方も活躍できるようなイベントやサークルなどを立ち上げていこうと考えている。	3, 5, 7
市内にある様々な団体と協力してイベントや行政に働きかけていき、皆で考えを出し合う時間などを作っていこうと考えている。	4, 5, 12
○地域の企業に寄付金の案内をする（会員制にする） ○子育て中でもできるイベントなどで資金が集まる出店をする（昨年度4回実施）	4, 5, 7
地元企業からの協賛がもらえるようにしていきたい。	4, 5, 7, 8
神戸市の助成金に申請したり、ファンクラブメンバーを募集したり、寄付しやすくするようにクレジットカードで支払いを受け付けできるような工夫を考えている。	4, 5, 7, 9
〔自主事業への新たな取り組み〕 ①自主上映会の開催（特に社会教育関係） ②子育て世代向け講座の強化（食育関係の交流会、親子共有・共存のワークショップなど） ③多世代（異世代）交流のオープン化（他組織との協働によるイベントの実施）	4, 5, 7, 9
・他の助成金の情報集め ・寄付集めの方法検討	4, 7
中古子ども服、おもちゃ、雑貨などをイベントで販売し、活動資金に充てたいと考えている。	5
約30年〜かかって確立した運営資金ですので、しばらくは続けていくつもりである。	5
これから先も継続的にやっていくことが一番大切と考えている。そのためにも、スタッフの交通費は最低限確保して協力を得ていきたいと思う。	5
助成金が15,000円になり、スタッフ一同うれしく思っている。大事に使います。桑原先生から物価の値上がりで大変だから、50円から60円か70円にとお話があったが、当面現状維持でと考えている。コープのフードドライブでおやつ材料を確保すれば学童さんの負担が少なくなるのではと思案中。	5
講師料に使用できるイベント単発の助成金があれば検討したいと思う。	5, 10
参加者からの参加費、年会費、他の助成金。イオンのイエローシート、例会以外に学習会、講座を開催し運営資金にする。	5, 12
・他の公益福祉財団からの助成金や神戸市補助金などに申請 ・公演時に観客への寄付の呼びかけ、今後はスタッフや参加者・保護者のOB/OGIによるサポート制度の構築やクラウドファンディングを検討 ・TFTの演劇公演は「見せる演劇」ではなく、不登校青少年の居場所、自己表現の場としての演劇であるため、公演の有料化（事業収入）は考えていない。	5, 12
○居場所づくりをコンセプトにしているので、不登校支援の居場所との連携を考えている。そこは週1で行っているため、子ども食堂も食事提供協力したい。そこで、不登校支援の助成金を調べている。 ○今年1月より「だがし屋さんごっこ」を子ども食堂で取り入れたところ、買う方もレジ係も学びの場となっていた。楽しみはもちろんのこと。そこで、愛は地球を救う24時間テレビの支援にだがし屋さんの屋台を検討している。	5, 12
三田市社会福祉協議会の助成金申請予定。他団体（トーキョーコーヒー三田）との協働。祭りやフェスでの出店を検討中。ひょうご子ども・若者応援団助成金後期の申請を検討中。	5, 8, 9

Q5. ともしび財団の助成金以外の運営資金確保について、新たに始められたことや今後考えていること	
ケア帽の提供時に賛同してくださる方より寄付をいただくことがある（布地、タオル地、お金）。イベントの際には少額でも参加費をいただくようにしていきたい。コピー機を購入して印刷費（コピー代）がかからないようにしていきたい。	7, 11
<まちづくり>	
本年度からは少しずつではあるが、地域の祭りやイベントに出店をして、少しでも資金を得る手段を試みたいと考えている。ただ、「子どものため」を優先した考えを持っているため、どこまでできるかは不明…	1, 4, 5, 6, 7
あらゆる助成金情報に注意を払うように努めているが、なかなか条件に合う情報が少ないのが現状。私たちの活動を広く知っていただき、賛同者を募り支援者を増やすように努力したいと考えている。	4, 5, 6, 7
他の助成金にも応募してみたいと検討中（東はりま地域づくり活動、他）。数年後になるかもしれないが、クラウドファンディングetcにもいつかチャレンジしてみたい。	4, 5, 7, 13
新たに別の補助金を申請した。今後はイベント等への出店をより積極的に行い、資金を確保していきたいと考えている。	7
<防災>	
クラウドファンディング（2023年度）、マンスリーサポーターキャンペーン（2025年度予定）	4, 5, 6, 7
他の助成金の確保が必要と判断した時は、探してエントリーするようにしている。講演や講座の依頼があった際は、その謝金を運営資金としている。	6
今現在新たに始めたことはないが、今後何かのイベントなどを自主運営する際に資金が不足するようであれば、いろいろな資金確保の方法を検討していく必要があると考えている。	6
<人権>	
○自主イベントなどを通じて会員の拡充（会費の増収）と寄付の呼びかけをする。 ○ともしび財団以外での助成金獲得。 ○講演料や原稿料など、メンバーでできることの依頼を積極的に受けて、収入を増やしていく。	2
<多文化共生>	
1. 他の助成金情報などの確認 2. 施設内の活動サークルのイベント時の各コーナーの有料化 3. 協賛団体との交流の活性化	1, 2, 4, 6, 7, 8, 9
今後活動拠点の家賃負担の減へ見直し。地域の人（団体）と協同して、同じ活動拠点で共通の課題に取り組むことをリビング甲南で始めたい。	1, 4, 5
資金ではなく食材のご提供をいただくように、個人の方からの受付を呼びかけている。	1, 4, 5, 6, 7, 9, 12
現在神戸市や兵庫県からの助成もいただいているが、コープこうべからの助成も全くなしでは運営できないと思っている。	1, 5, 7
・参加費用の改定を依頼した（昨年10月より）。50円値上げした。 ・応援していただいている団体の代表に、毎回子どもキッチンの様子を写真などを含めて報告させてもらっている。時間の都合がつく場合は、共に食事をしていただき、交流も深まってきている。	2, 4, 5
当団体や関連団体のイベント開催時などにチラシなどにより、寄付を呼び掛ける。	3
①他の助成金をさがす ②物価高に伴う参加費の値上げ ③任意額の投げ銭的募金集め	3, 4
・他の団体と案件ごとに協力していきたい ・区役所などと情報交換をしている	3, 9, 12
<子ども育成>	
主催イベントなどでの適正な受益者負担を目指し、参加費の徴収を行うなど。また、他団体の助成金も活用することを考えている。	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7
ひょうご子ども・若者応援団一般助成金は、3年間助成金を受けた。2024年度が3年目で最終年。来年度からは助成金は受けられない。今年度中にひょうご子ども・若者応援団助成金に近い助成金を受けられるところを探さなければならない。以前はキンビールから、次の年度は近畿労働金庫から助成金をいただいた。これらは1回切りです。	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12
フリーマーケットの開催回数を増やして弁当販売により運営資金を確保している。スタッフ一同お弁当作りには自信があり、イベント時に販売出来たらと思っているが、80%が高齢者スタッフなのでなかなかむずかしい（体力不足？）。	1, 2, 4, 5, 6, 7, 9, 10, 12
現在私たちのグループはともしび財団の助成金以外に、県民ボランティアからも助成を受けて活動を続けることができている。足りない活動費については、会費や個人負担で賄っているのが現状。今後は何年たくさんの演目の人形、大道具、小道具などを再利用しながら経費節約に努めて活動を続けていきたい。	1, 2, 5
出前おはなし会に行くときや、また、要望があり出向くときは、お礼をいただくように積極的にできるよう、私たちもおはなしを語ったり、絵本の読み聞かせをするための学習を積み重ねていく時間をしっかり取るようにしていきたいと思っている。	1, 2, 5, 7
1. 修理用部品のまとめ買いでコストダウン＝修理部品は実費請求することとしている 2. 活動趣旨に賛同していただける会社の寄付や修理返品時のカンパ活動 3. 会員募集	1, 4, 5, 7
ともしびこけしのメンバーから会費を徴収することも今後は致し方ないかと考えている。メンバーの意見はまだ聞いていない。	1, 5
・他団体の子ども食堂への出張調理 ・フードバンクの登録	1, 5, 7, 9

Q5. ともしび財団の助成金以外の運営資金確保について、新たに始められたことや今後考えていること	
ともしび財団の助成金に頼らない運営を意識しているが、子ども食堂とフードパントリーを主に開催していて、収益を伴う事業の予定はない。なので、助成金以外の運営資金の確保のため、新たに考えていることはなく、何かあれば教えていただきたい。	2, 4, 5, 7
3年前から助成金の公募があれば応募を続けている。	2, 5
新たに始めてはいないが、現在ともしび財団以外に2カ所で助成を受けている。他に助成金制度がないか調べてみようと思っている。	2, 5
将来的には他機関の補助金、助成金にも助成支援していただけるようにすることが第一です。	2, 5, 8, 9
・子どもゆめ基金からも助成をいただいている ・参加者を増やして参加費収入の増加を望んでいる	4, 5
年に数回イベント日は、こども食堂との合同イベントとして、イベント・食堂利用料の一部をおもちゃ図書館の資金と考えている。	4, 5, 12
運営資金の確保のためだけでなく、こども食堂の内容充実のためにも、単回または定期的の各種助成に積極的・断続的に申請を行っている。また、地元の企業・団体などの方々とつながりを広げ、ご寄贈いただける食材の拡充に努め、経費に占める割合の最も高い食材費の削減を図っている。	4, 5, 6
○活動基金の積み立て：バザー収入を主に役員の立替解消のために積み立てを行なってきた。令和5年では、年度頭部の運営資金を活動基金からの短期借入で賄い、役員の立替を解消することができた。 ○保有資材の棚卸：保有資材の棚卸を12月に行なうことで、補充が必要な消耗品や破損品を計画的に購入することができた。資金計画を立てやすくなり、年度頭部の運営に余裕ができた。反面、活動内容の硬直化に繋がらないように留意する必要もある（保有資材ありきの活動内容のマンネリ化とならないよう、新たな活動内容を常に考える必要性）。	4, 5, 6, 7, 9, 13
他の助成金を探す。年2~3回の大きなおはなし会の時に参加費をあげる。	4, 5, 7
入会時だけ1家庭500円をいただいている。コロナも明け、いろいろなイベントも考えている。それに伴って受益者負担の流れも作りたいと思う。	4, 5, 7
大学の公認を受けることを考えている。コロナ禍で子ども食堂の活動を行うにあたり、全面的に活動が禁止された。公認サークルと異なり、非公認であることで自己判断で活動することができた。一方で公認サークルになれば、大学から活動費を補助される。コロナが収束した現在、公認への手続きを始めようとの声がサークル内で出ている。	4, 5, 7, 9
・昨年からボランティア謝金をなくした（1回交通費含め1,000円） ・他助成への応募 ・地域に対しての協賛会員・会費	4, 5, 9
兵庫県青少年本部ひょうご子ども・若者応援団の助成金を申請した。	5
収益事業があると考えるが、昨年コミュニティづくりも兼ねて料理教室のような事業を試みたのだが、コストがかかりむずかしいと感じた。いろいろな収益方法を検討しつつ、参加費の徴収など必要かと検討中。活動にかかる交通費や人件費が対象になるような助成金などの情報を収集している。	5
ともしび財団の助成金と合算して40,000円以上の資金が見込めないと、ボランティア基金の申請ができないので、ともしびが受けられないとそちらも連動して申請できなくなる。他に資金確保の当てがないので、メンバーの自助、古本屋、図書館の利用などで乗り切るしかないと思われる。	5
地域の方に寄贈など支援いただけるように、SNSでの発信に力を入れている。	5
公益財団法人キリン福祉財団、イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン、その他	5, 12
ひとときおしゃべり会への常連さんが多くご参加される時に、寄付金箱を置かせていただいている。	5, 12
<食と農>	
次の手順での取り組みを考えている。①講師（麴料理研究家）による、親子農業体験時に料理教室の開催 ②麴の料理教室を単独で開催 ③農家レストランの経営 ④麴・野菜加工品の販売	5, 6, 7, 9
<環境>	
会員の増大に向けての勧誘活動活性化及び会員の見直し。	1, 8
現状、ともしび財団以外からも助成金を受けており、継続して助成金の申請を行っていく方針である。また、里山保全活動を通じて、枯木伐倒後の木材を薪として加工・乾燥し販売、原木シヤケ栽培など、自主財源確保のため行動したいと考えている。	2, 5, 8, 9, 12
今後いろいろな助成金も検討していきたい。	4, 8
①2023年度から会費の値上げをしている ②2024年度から収穫祭などの親子イベントの参加費の値上げを予定している ③当団体が栽培している野菜の販売がなんらかの形でできないか検討している	5, 8
メンバーからの会費の徴収、単価の低い花苗の購入、球根や多年草・低木を中心にメンテナンスコストの低いものを植栽。	7, 13
今のところ各スタッフの手弁当で活動できる範囲なので、保険料や参加費を考えている。	7, 8

Q5. ともしび財団の助成金以外の運営資金確保について、新たに始められたことや今後考えていること

依頼を受けた時に講師料の交渉を行っている。依頼が多いコープこうべには、2024年度の講師料の値上げをお願いし、交通費込みで10,000円/回のところを10,000円+交通費をいただくこととなった。昨年度貴団体より紹介（パンフレット）があった虹の賞にも応募したが落選した。資金確保のためこれからもアンテナを張って申請していくつもり。貴団体よりアドバイスいただいた「参加者への材料費負担」の件はすでに行っている。

8

今後世の中は環境活動が求められるので、他の環境協会などに申請する。また、間伐した森林を子ども森の遊び場に、子どものパパを計画段階から誘って森づくりをする。

8

運営資金を得る情報の入手先について

Q6. 運営資金を得る情報の入手先についてご記入ください

■右の列の番号はQ1で回答された活動内容

1. 高齢者支援 2. 障がい者支援 3. 多文化共生 4. 多世代交流 5. 子育て支援、子どもの健全育成
6. 防災・減災 7. まちづくり・地域おこし 8. 環境活動 9. 食と農・食育 10. 女性に向けた支援
11. がん患者・家族の支援 12. 不登校・ひきこもり支援 13. その他

<福祉>

「兵庫の福祉」などに載っている助成金募集など、各ホームページ等	1
神戸市つどいの場支援事業	1
つどい場活動を行っているグループの人たちから情報を得ている。	1
きらり助成に頼っている。	1
高砂市社会福祉協議会	1
区役所、社協	1, 10
インターネットの地域活動助成金についてのサイト、他の活動を行っている人たちからの情報	1, 2
コープの助成金以外受けていないので分からない。お友達から教えていただいた。	1, 2
市民基金神戸、CS神戸	1, 2
社協	1, 2, 3, 5, 7, 12
麒麟福祉財団の助成金は、赤穂市社会福祉協議会の職員からの情報提供だった。申請書類の作成や推薦書でもお世話になった。フードバンクのメンバーだけでは、どのような団体の助成金制度があるのかもよくわかっていない。経験のある団体の教を乞いたいと思う。	1, 2, 3, 5, 9
社会福祉協議会	1, 2, 4
他団体から情報	1, 2, 4, 10, 11, 12
社協、ボランティアセンターが主	1, 2, 4, 5, 10, 11, 12
CS神戸、灘区社協のメールマガジン、ネット検索で助成金団体のホームページへのアクセスなど。	1, 2, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 12
灘区社会福祉協議会に相談して情報を入手している。また、団体としてもインターネットなど検索して情報を入手している。	1, 2, 4, 5, 7, 10, 11
行政・民間のホームページや広報紙、ネットワークからの情報	1, 2, 4, 5, 7, 13
社協、ボランティア協会、NPO法人など	1, 2, 5, 6, 7, 8
社会福祉協議会から情報をいただいたり、協力団体である東灘こどもカフェとの情報交換に努めている。	1, 2, 5, 9
ネット、社協などの紹介、交流のある傾聴グループとの情報交換。	1, 2, 7
リードあしや、芦屋市社会福祉協議会、インターネット（CS神戸、ワラビー、木口財団 他）、生活支援コーディネーター（西山手高齢者生活支援センター） 他	1, 4, 13
宝塚市役所や社会福祉協議会	1, 4, 5, 7
西宮市交流センター	1, 4, 5, 7
コープこうべ、加古川市社会福祉協議会、加古川市役所	1, 4, 5, 9
区社協の情報誌、地区のホームページなど	1, 4, 6
地域の自治会や各種団体	1, 4, 7
助成金については各方面から情報を集め、できるだけタイムリーに申請していく。会員からの情報も重要になる。自主企画催事出店などはそれぞれの規模に合わせ、頑張るのみです。	1, 4, 7
地域の他団体との情報交換。SNSなど。	1, 4, 7
補助金情報をネットで検索して調べる。ひょうごボランティアなどのサイトで見つける。	1, 5, 10, 12, 13
毎年の案内、インターネット情報	1, 5, 7
インターネット、知人の紹介、社協からの情報。個人的には今まで知人の紹介で応募したのがほとんど。今回も知人の紹介で応募。	1, 7
麒麟ビールより助成を受けている方にお聞きしたが、広告したり大変だそうで、私たち個人グループに助成あるのか？疑問です。また、3月は社協や市など報告書と、続行なら活動書と書類の山で、他のボランティアもいくつか担っており、多忙の中での夜中の書類づくりを増やすのは無理なので、麒麟ビールは断念した。参加者数を増やす努力あるのみ。福祉センタートップの方が広報紙に当方の広告を出してくださって、少し増えつつある。感謝です。	1, 7, 13

Q6. 運営資金を得る情報の入手先についてご記入ください	
公的なボランティアセンターなどの紙面による助成金情報より入手。	1, 9, 11
①姫路市ボランティアサポートセンターに相談する ②インターネットで検索	10, 11
NPOや一般社団、財団という団体との人脈形成により情報を入手する。資金面で成功している団体との交流を図る。	11
他のがん患者会から「どのように資金を得ておられるのか」、機会あるごとに情報収集するようにしている。	11
○三木市は広報誌で知った。 ○コープのともしび助成は他の不登校支援をしている方から教えてもらった。 ○社協の県民ボランティア活動助成は三木社協が発行している情報誌から。	12
県民ボランティア	13
姫路市ボランティアセンター、姫路市難病連	13
社協ボランティアセンターより案内される	2
ネット情報。各ボランティアセンター。	2
・人からの情報 ・HPやチラシなど ・ネットなどの「ボランティア助成金」などを調べる	2
インターネットが多い。	2
須磨区ボランティアセンター、ひょうごボランティアプラザ、民間についてはこれから情報を集めます。	2
会員、賛助会員より	2
ひょうご（兵庫）ボランティアプラザやひめじオンなどのネットの情報。	2
加古川市の社協から情報をもらう。	2
社会福祉協議会の助成金、インターネットでの検索	2, 3, 5, 9, 10
助成金情報（CS神戸、しみん基金こうべ、社協など）	2, 4, 5, 12
近場の同じような活動をしている方々や、昔から応援してくれている社協職員やコンサルの方など。	2, 4, 5, 12
・ボランティアセンターなどへ行った際、チラシをこまめにチェックしている ・CS神戸とリードあしやのメルマガに登録している ・市内で活動している人が交流する「みやコレ」というイベントを主催し、資金や広報などについて情報を交換している。	2, 4, 5, 13
助成金や寄付金の情報収集のためにさまざまなリソースを活用している。主に、関連する団体のウェブサイト、地方自治体や国の公的機関が提供する情報、および非営利団体支援の専門機関からの情報を定期的にチェックしている。また、コンサルタントのアドバイスをを受けたり、関連するワークショップやセミナーに参加することで、最新の資金調達戦略を学び、ネットワーキングを行っている。これにより、効果的な資金調達方法を探求している。	2, 4, 5, 7, 12
高砂市社会福祉協議会から情報を得ている。	2, 4, 6, 12
ボランティアプラザ、アイサ	2, 4, 7
インターネットや口コミ	2, 5
全国のアレルギー患者家族団体のネットワーク、姫路ボランティアサポートセンターなどからの情報	2, 5
インターネットで調べる	2, 5, 12
社協や県ボランティアセンターなどの助成金サイトなどより情報を得たり、クラウドファンディングを利用するための情報を集めることもある。	3, 12
区役所のホームページ、社会福祉協議会のニュース、Coop広告誌	3, 13
小学生と中学生を対象にしたプログラミング教室や勉強会に参加してくれている保護者に、我々の活動に賛同していただき、賛助会員（会費：1000円/年）になってもらえるようお願いする。光都に住む外国人に日本語を教えるKOUTO NihonGO Clubを開催する。参加してくれた外国人が働く企業に団体会員（会費：10,000円/年）になってもらえるようお願いする。	3, 5, 7
ネットなどの情報で知ることが多い。知人からもある。市議の方など。	4, 5, 12
各関係団体、行政の情報など	4, 5, 7
市や県のホームページ、他団体からの情報提供	4, 5, 7, 8
口コミ、市のプレスリソース	4, 5, 7, 9
①ひょうごボランティアプラザ（兵庫県社会福祉協議会）他市・区社協 ②中間支援NPO（CS神戸など） ③神戸市地域協働局	4, 5, 7, 9
・行政の広報 ・社協からのお知らせ ・他団体との交流	4, 7
特になし	5
兵庫県社会福祉協議会ボランティアプラザ、宝塚市社会福祉協議会ボランティアプラザ	5
フードドライブの手続きが全然わからない。次回サークル会議で聞きます。	5
コラボネットひょうご（ひょうごボランティアプラザ）のHPから助成金情を検索したりしている。	5, 10
区役所から社協の情報を入手している。	5, 10
ひょうごボランティアプラザHPからの情報入手が多い。	5, 12
社会福祉協議会、宍粟市子育て支援課、ネット情報	5, 12

Q6. 運営資金を得る情報の入手先についてご記入ください	
三田市内で活動中の他団体からの情報。ネットで助成金について調べる。	5, 8, 9
地域しごとサポートセンターからの情報、インターネットでの検索、他のボランティアグループからの情報、新聞や広報による情報	7, 11
<まちづくり>	
検討中	1, 4, 5, 6, 7
助成金情報を得る手段としてSNSを活用している。	4, 5, 6, 7
社会福祉協議会のホームページ、LINEなど。	4, 5, 7, 13
インターネット、知人からの紹介	7
<防災>	
メーリングマガジン（ひょうボラ）	4, 5, 6, 7
助成金については、ひょうごボランティアプラザの助成金情報サイト、CANPANの助成金サイトから入手している。	6
会員相互の情報交換やインターネットなどから情報を得ている。	6
<人権>	
自主イベント、SNSの活用	2
<多文化共生>	
兵庫助成金一覧の資料より	1, 2, 4, 6, 7, 8, 9
神戸のCS神戸、東京のむすびえなどからの情報も参考に。	1, 4, 5
社会福祉協議会、市役所との連携、インターネット・ホームページ等の活用	1, 4, 5, 6, 7, 9, 12
・社会福祉協議会（やまて会館）で運営しているので、その都度情報提供を受けるようにしている ・SDGsの食品などもいただいている	2, 4, 5
CANPAN FIELDSや、つなごう神戸などWEBサイトからの情報。その他、各助成団体からの案内により入手。	3
①インターネット ②ボランティアセンター ③西宮市国際交流協会	3, 4
・ネット検索 ・県や市などの情報 ・外国人支援者からの情報	3, 9, 12
<子ども育成>	
社会福祉協議会が運営するボランティアの広場zukavoが提供する助成金などの情報、他、NETや街中でのポスターなどからも情報を得ている。	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7
尼崎市社会福祉協議会ボランティア活動助成金の方に聞きたいと思っている。	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12
兵庫こども食堂ネットワーク、尼崎市こども食堂ネットワーク	1, 2, 4, 5, 6, 7, 9, 10, 11
今いただいている助成金以外はわからないので、どこかあれば教えていただきたい。	1, 2, 5
市の社会福祉関係から	1, 2, 5, 7
継続的な協賛をいただける会社情報	1, 4, 5, 7
・兵庫県ボランティアプラザの助成金情報 ・社会福祉協議会 ・ともしび財団	1, 5, 7, 9
むすびえさん、尼崎子ども食堂ネットワーク、助成金サイトなどを利用している。	2, 4, 5, 7
県や市の公の機関、福祉協議会、文庫交流会などでの情報交換	2, 5
様々な他機関の助成金情報のメールマガジンに登録してその都度チェックしている。また、他団体の方からも情報を聞くことをしている。	2, 5, 8, 9
行政からの案内やインターネット	4, 5
・兵庫こども食堂ネットワーク ・全国こども食堂支援センター むすびえ ・豊岡市社会福祉協議会 ・兵庫県	4, 5, 6
○パンフレットスタンド：地域課やユース交流センターに置いてある①各種団体のパンフレット、②助成金の募集パンフレット ○インターネット：各種団体のHPなどでの募集情報（パンフレットを補完する詳細情報の入手先として） ○郵送される案内：青少年本部（阪神南青少年本部）や県子ども会連合会を通しての案内	4, 5, 6, 7, 9, 13
ネットで探す、社協などに相談する	4, 5, 7
○大学の事務室やボランティアセンターなど ○活動している市の福祉協議会や交流のある他の子ども食堂など	4, 5, 7, 9
・社会福祉協議会 ・むすびえ ・神戸子ども食堂ネットワーク ・同じ子ども食堂を運営する団体	4, 5, 9
インターネット（ボランティアセンターなど）	5
福祉協議会等の広報などを注意深く見て適用するものがないか、常に意識している。	5
中間支援団体からの情報や、財団からのお知らせ。	5
高砂市社協のボランティア活動センターに登録しているので、センターから情報が入ってくる。	5

Q 6. 運営資金を得る情報の入手先についてご記入ください	
西宮市社会福祉協議会、西宮市HP、にしのみや子どもと学びのネットワーク、全国親の会交流会「ぼんて」、ネット検索	5, 12
世話人同士で話し合っているだけです。他の親の会の方々にお話を伺うこともしている。自主運営の方法は全く思いついていない。	5, 12
<環境>	
役所などで助成金について問い合わせる。他団体から情報を得る。	2, 5, 8, 9, 1
ネットによる情報の他、知人からの情報。	4, 8
①兵庫県森林ボランティア団体連絡協議会やエコネット近畿などに加盟（年会費が必要）し、助成金情報を得ている ②該当地域の社会福祉協議会にボランティアグループとして届け出しているので、助成金の情報をいただくことができる	5, 8
他のボランティアグループより	7, 13
まだ各スタッフの宿題にしている。	7, 8
兵庫県森林ボランティア団体連絡協議会から送られてくるメールで各種助成金のお知らせ	8
これからも貴団体からの情報、活動場（ミーティング）として登録しているひょうごボランティアプラザからの情報を見逃さないようにしていきたいと思う。また、環境活動を行う団体からの情報を兵庫県だけでなく、大阪府にも目を向けていかななくてはならないと思っている。	8
ひょうご環境創造協会	8

参加したいと思うような情報交換の場について

Q7. 情報交換できる場について、どのような場であれば参加したいと思いますか？教えてください（例：開催場所、日時、回数など）

■右の列の番号はQ1で回答された活動内容

1. 高齢者支援 2. 障がい者支援 3. 多文化共生 4. 多世代交流 5. 子育て支援、子どもの健全育成
6. 防災・減災 7. まちづくり・地域おこし 8. 環境活動 9. 食と農・食育 10. 女性に向けた支援
11. がん患者・家族の支援 12. 不登校・ひきこもり支援 13. その他

<福祉>

コープの地区本部などにも交流会の開催について相談しているが、同じような活動をしているところが少なく実現していない。同じ食事会でも子ども食堂のような内容とは違い、また店の規模の面からも食材の入手が限られてくるため、同じようなところがあれば教えてほしい。特に魚類の取り扱い種類が少ないため、参加者人数が確定する1~2日前の発注では間に合わずメニュー決定に頭を使う。	1
同じような電話傾聴ボランティア団体と交流したい。	1
開催場所は灘区、東灘区。日時は午後3時以降。回数は年1回。	1
参加者が高齢の方がほとんど。出かけることは困難だと思われる。お見えになられる交流会なら歓迎。 ○時間：第2日曜日10時~12時 ○場所：兵庫区楠谷町「楠谷会館」 ○回数：月1回	1
神戸市内の行きやすい場所。年1回くらい。土曜の午後ぐらい。	1
同じような介護予防に関することをしている方々と交流したい。場所などは、決定された時間・場所など都合がつけば行きたいと思う。	1
同様の活動をしている団体との情報交換を望む。また、高齢者だけでなく、安心安全に暮らしていくための地域の課題についても知りたいと思う。	1
コープを会場にした交流会でお願いします。	1
交流会はいつも神戸で開かれているが、夢前からは遠く1日仕事です。できれば、姫路などであれば参加しやすいのですが…よろしくお願いします。	1
高砂市内で自転車で行ける場所であれば参加したいと思う。	1
区役所5階、平日、年1回	1, 10
申し訳ないが、私を含め皆高齢なので、新しいことに関しては求める有意義さより、いろんな意味での気疲れのほうが勝ってしまい、特に何も無い。	1, 13
同じような活動をしている団体の方と交流し、工夫や苦労話など共有し、今後の活動に活かしたい。例えば、高齢者福祉の活動、子ども食堂、地域の集いの場など。	1, 2
第2地区でグループ交流会を以前したことがあるが、視覚障がい者のためのグループは他にないように思う。他地区で障がい者の方々のためにされているグループがあれば是非交流をしたいと思う。その時はなるべく参加者が1名ではなく、複数の参加でお願いしたい。開催場所…例) 1、2地区というふうに近くの方がよいと思う。	1, 2
年2回くらいなら参加できそう。場所は交通の便があるところがうれしい。	1, 2
近くでいろいろな曜日の午後にしてほしい。私の場合、月・水・土・日が参加しやすい。飲み物、食べ物を売る場所を作ってくださいとうれしい。それを買って飲んだり食べたりしながらおしゃべりできるとうれしい。	1, 2
いろいろな活動をしている団体のつどいに参加したいと思う。	1, 2, 3, 5, 7, 12
西播地域で活動している団体との交流を希望。活動内容が異なっても構わない。赤穂市も西播地域に位置するが、田舎であるため地域に密着した特有の情報交換ができればと考える。	1, 2, 3, 5, 9
・場所については洲本なので、今回のように三宮近辺がいい ・選択できる開催日	1, 2, 4
初めての参加は緊張するので、短時間の体験参加のようなものがあつたら…との意見があがった。	1, 2, 4, 10, 11, 12
メンバーなかなか多忙で参加はむずかしい。説明会の日にまとめて実施なら参加しやすい。	1, 2, 4, 5, 10, 11, 12
兵庫県下や例えば神戸市においても西区（当方：灘区）の団体との情報交換も大事かもしれない。しかし、時間的・内容的な効率を考えれば、近隣の地域ごとに交流会・情報交換会があれば参加したい。内容がよければいずれの日時でも参加します。	1, 2, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 12
①開催場所に関しては、公共交通機関の駅近くであれば市内どこでも結構 ②日時に関しては、比較的火曜日・土曜日が参加しやすい ③同区内または隣の区同士など、活動エリアの近いボランティア団体の交流も開催してほしい ④各団体の活動発表がしっかりとでき、その後興味のある団体同士が情報交換できる時間を余裕もって開催してほしい	1, 2, 4, 5, 7, 10, 11
開催場所：例えば阪神間の場合…宝塚、川西、西宮、伊丹など。持ちまわり会場で年に2回くらいの交流会、オンライン・ZOOM会議。	1, 2, 4, 5, 7, 13
・できれば西方面でも開催を希望 ・交流は短時間ではむずかしい（名刺交換したくてもない人もいるので、工夫が必要）	1, 2, 5, 6, 7, 8

Q7. 情報交換できる場について、どのような場であれば参加したいと思いますか？教えてください（例：開催場所、日時、回数など）	
○場所：三宮周辺、宝塚 ○日時：午後であれば曜日は希望なし ○回数：年1回	1, 2, 7
芦屋市では社会福祉協議会主催のフードバンク利用団体の交流会が年に数回あるので、そちらで情報交換させていただいている。なかなか西宮・神戸で開催されても、開催場所・日時が合わないに参加できるかどうかわからない。5/11（土）はすでにリードあしやのイベントへの参加要請があり、残念ながら欠席させていただきます。	1, 4, 13
・今まで通りKOBEのはしっこさんの活動に参加させてもらいたいと思っている。 ・店舗の活動のお手伝い（イベント）。 ・元西区役所の跡地利用（玉津支所）での活動のお手伝いも打診されている。	1, 4, 13
オンライン参加はできないでしょうか。たまたま、スタッフの全員が出かけられないこともあるので。	1, 4, 5
市営地下鉄名谷・妙法寺・北須磨の近くで健康づくりの体操を必要とされているグループがあれば、日時さえ合えばいつでもお手伝いしたいと思います（介護施設、子育てサークル）。本格的に太極拳を習いたい方には、専門の歴史ある教室・団体をご紹介しますこともできます。	1, 4, 5
市単位（宝塚市）や地域単位（阪神地域）の活動場所の近隣で開催されれば参加しやすい。異なる活動の団体と交流することも新たな視点を得られて有意義ですし、同じような活動をしている団体と情報交換できる機会もありがたい。	1, 4, 5, 7
①新しい講座や講師の開発につながるような情報交換ができると助かる ②活動ボランティアの開拓方法についてアイデアが得られる場があるとうれしい。	1, 4, 5, 7
実際に活動を行っている場所・開催日のへの見学。	1, 4, 6
当会のためになる情報が得られる場であれば参加したい。	1, 4, 7
ボランティア活動には多くの対象・分野があり、全く離れたような活動でもお聞きするとすごく刺激的で参考になることがある。即戦力になる情報も欲しい一方で、画期的な変革への情報も欲しい…これが本音。やはり年数回の「優秀な事例発表」をするのがいいと思う。できるだけ参加したいと思う。	1, 4, 7
地域ごとに近場で開催される場があればと思う。私は尼崎市なので阪神南32団体で集まることがあれば行ってみたい（年1回ぐらい）。	1, 4, 7
・近隣の団体と交流したい（グループにて話し合う） ・以前スマホ写真の講座に参加して写真の知識を得ただけでなく、自然と交流できた。講座とセットにした交流会をしていただけたらと思う。	1, 4, 7
名谷パティオ健康館での開催もお願いしたい。	1, 4, 7
地域ごとの集まりがあれば参加したい（垂水区、西区）	1, 4, 7
日時が合えば参加したい。	1, 5
人と人の交流があるイベント、ピアノを使用できる場所であれば、日程さえ合えば参加させていただきたい。	1, 5
活動場所の近くの同種の方たちと情報交換を試みたい。	1, 5, 7
協同（共同、コラボ）で事業ができればいいと思うので、同じような考えを持っている団体とつながりたいと思う。	1, 5, 7
団体で交流してもいろいろと取り組む課題も異なり、お互いに実りのある情報交換がむづかしい。テーマを絞り共通の課題を持つグループ同士の交流が望ましい。 1. 40年程度経過した郊外型戸建団地のサロン運営についての情報交換。 2. パソコン+プロジェクトなどを応用したプログラムの運営課題。 前記1と2に関連した交流ができるならば参加したい。	1, 7
近隣地区、年2回程度	1, 7
春と秋の音楽会（市営第一住宅の集会所で実施）。南米の楽器演奏・踊りなど地域の人たちにもっと知っていただくことと、南米楽器の演奏を練習されている方の発表の場を兼ねての音楽会なので、どうしても日曜日となる。11月の第4日曜日、3月の第4日曜日を予定している。今年度はクリスマス会の時、他団体と交流ができたかと考えている。	1, 7
昨年「安暖庭にどう仲間展」と市民交流会が同じ日になり欠席し、失礼しました。後日出席できなかった「はまなすの会」の方の家を訪れ、具体的な取り組みを見せていただき、とても勉強になった。発表だけの交流会よりも訪問する交流もいいなあと思った。ただ、企画する方は大変ですね。	1, 7
どのグループがどんな内容で活動されているのかを知りたい。お互いに出向し合えたら参加の方がより楽しく新鮮な感じで、スタッフとの交流の輪も広がり、情報交換できて成長できると思っている。毎週火曜日・水曜日がボランティアなので、できましたら土曜日が参加しやすい。年に2回くらい住吉の生活文化センターが便利でいいと思う。	1, 7, 13
・開催場所は県内の中心部（せめて明石くらい）にしてほしい ・もう少し開催時間を長くしてほしい	1, 9, 11
土日の休日に神戸周辺、または地域ごと（播磨地区）に区切って身近なグループとの交流があれば参加したい。	10, 11
兵庫県公館にて18時～開催。知事や行政とも交流できる場など。	11

Q7. 情報交換できる場について、どのような場であれば参加したいと思いますか？教えてください（例：開催場所、日時、回数など）	
○同じような活動をしている団体同士が交流できる場がほしい。 ○年に2回（年度初めの活動が始まる5月ごろと、活動が終わる2月ごろ）の2回。2回は同じメンバーが望ましい。	11
一度も参加できていない（コロナもありで）。近いほうが行きやすいが、みなさんのことを考えるとやっぱり三宮でしょうか。2回あるとどちらか参加となるのか。	12
小規模で地域が近くの団体が集まれば、気軽に交流できるように思う。	13
・地区やボランティア団体の種類ごとにWebミーティング（ZOOMなど）や交流会 ・ボランティア運営やスタッフ育成に関する勉強会	13
実際に参加される団体（活動内容）が分かれば参加の判断がしやすいと思う。参加することで得られる情報やつながりがある程度想像できるとモチベーションになりそう。	2
活動拠点がお互いに近く、分野が似ている団体とつながりたい。	2
点訳ボランティア連絡会に参加しているグループは、コロナ前には38グループあったが、今年度は30グループまで減少している。理由として高齢化や若い方の参加がなく、グループの縮小や休止がある。若い方が入って来ているグループのお話が聞けたらと思う。今はSDGsブームで、環境などには関心があり参加が多いようだが、地味なボランティア活動には参加が少なくなってきたり危機感を持っている。	2
活動地域ごとの交流会。また、同じような活動をしている団体ごとの交流会など。去年は助成金説明会の会場で交流会がなかったのは淋しかった。	2
ランチ会（会費制少額）でやってみてはどうか。交流会の人数も増やすのはどうでしょうか（各市民団体の）。	2
○開催場所：三宮付近 ○日時：いつでもOKですが、帰りは遠方になるので早めの終了がありがたい ○回数：複数なら、都合のよいときに参加できるのでうれしい	2
○団体同士の交流について…点訳ボランティアグループがあれば、横の交流をしてサークル運営などの意見交換をしたい。他種のボランティアの方とも交流を持ちたい。 ○開催場所は交通の便の良いところ ○日時などは初回を土曜日か日曜日に開催するのなら、次回は平日に。時間も午前、午後を交互にやってみて、参加者の多いほうに決定してみてもよいと思う。	2
次のような情報が得られる場があればうれしく思う。 ・ボランティア活動に必要な資金（助成金）や活動場所の提供の情報 ・同じ活動をしているグループの情報（活動や資金面での工夫していること）	2
私たちは神戸市立点字図書館のボランティアグループですが、他施設のグループ製作の苦労やちょっとしたコツなどをお聞きできるといい。	2
1. 市民活動交流会で、同じようなボランティア活動のグループで。 2. 年2回開催。	2
・災害訓練など地域の交流が不可欠な場所。 ・聴覚障害者が安全に安心して暮らすために手話ではどう伝えるか、考えられる場所。 ・聴覚障害者が日常生活で不便を感じていることについて話をできる場所。	2
昨年度の交流会に出席してないのでよくわからないが、自分たちの活動をPRするような場を設けていただきたいと思っている。1年に2回程度の機会があればよいと思う。	2
・同じ点訳活動をしているグループから情報があればうれしい。 ・近くの地域での集まりがあれば参加したい。加古川市内で子ども食堂をされている方が助成に興味があるとされていたので、地域別に助成を受けている団体と、まだ受けていないけれども興味がある団体の交流会があればいいなと思う。	2
他機関との接点を希望。県・市の助成金があれば、利用者さんにもっと有利に手助けができると思う。	2, 13
今後の活動において、協働できそうな団体とのマッチングをお願いしたい。事前にアンケートが必要で大変かもしれませんが…	2, 3, 5, 9, 10
○月1回オンラインで気軽に情報交換できるもの（2時間くらい） ○1シーズンに1回くらいの小さな交流会（リアル、20組くらい）で、その場に活動相談コーナーがあるとうれしい。	2, 4, 5, 12
まだ一度も参加したことがない上に、交流会のようなものに参加したこと自体ないので想像がつかないが、うちのような田舎だとなかなか神戸あたりに出ていくのも大変なので、三田あたりで開催していただくとありがたい（姫路でも）。内容でいうと、運営形態（NPO、一社など）の相談や、福祉よりの事業でも自力運営するためには…みたいな内容だとすごく参加したい。	2, 4, 5, 12
◎より多くの人に知っていただける交流プログラム…例えば、1団体ずつのアピールタイム、全員と名刺交換、途中で座席替えあり、参加する方全員にリーフレットなどを配っていただける、など ◎一団体から2~3人ずつ参加できる ◎日程が複数あり、都合のいい日を選べる	2, 4, 5, 13
市民活動団体間の交流会は、情報提供や協力関係の構築に非常に有効である。異なる団体が一堂に会することで、互いの活動や成功事例、課題を共有し合える。これにより、新たなアイデアや解決策が生まれ、各団体のプロジェクトがさらに発展する可能性が高まる。また、交流会は参加者同士のネットワークを強化し、将来的な共同プロジェクトや資源の共有につながることも多い。効率的な運営と定期的な開催が成功の鍵となると思う。	2, 4, 5, 7, 12
特に、当団体と類似のニーズに答えている団体との交流をしたい。半年に一度くらいの開催で、その半年間での変化など共有できるとうれしい。	2, 4, 5, 7, 8
近くで開催。日時は土日を希望する。	2, 4, 6, 12

Q7. 情報交換できる場について、どのような場であれば参加したいと思いますか？教えてください（例：開催場所、日時、回数など）	
神戸地区での福祉団体さんから情報提供いただいたので、そのような団体さんが参加できるイベントや集会などに参加させていただきたい。	2, 4, 7
自分たちの活動にあった方々や、近くの団体の方々と交流したい。	2, 5
・カテゴリー別の団体交流会 ・エリアごとの団体交流会 ・以前のようにどなたか講師をお招きしてお話を聞いて（前半）、後半は団体同士がブースを自由に動いて情報交換したり、ワークショップなどもしてみる	2, 5
週末、早い時期からのスケジュール告知をしていただけたら大変ありがたい。	2, 5
○場所：駅が近い、明石～三宮の間 ○日時：週末、夕以降（日中は活動していることが多い、年間で予定を立てているので調整が大変） ○回数：年1～2回。気軽に飲食ができたり、グループなどは初めにマッチング。アンケートなどを取り、希望のチームとお話ができるといい。	2, 5, 12
たくさんのボランティア団体が一堂に集まり盛会だった。昨年は自己紹介で終わったので残念だった。同じような障害のある方の居場所作り、町作りなどの共通の課題のテーブルでの情報交換などの場があれば、年に数回でも参加してみたい。	2, 5, 7
年1回くらいシンポジウム形式で発表（3～5団体）と、その後に交流会（お菓子などあってもよいのでは？）。時間を決めて、場所を変えたり…しながらの交流はいかがでしょうか？	3, 12
年に一度くらい同じ活動をしている団体と交流し、情報交換したい（同じ活動とは、外国にルーツを持つ小中学生の学習支援）。	3, 13
それぞれの活動を実際に見たり、体験できたりしたら勉強になると思う。場所はそれぞれの活動場所で行うのはどうか？ 情報交換を気軽に行うには、WEB会議などでもよいかと思う。	3, 5, 7
開催場所：ピピアめふ、日時：小学校の長期休み 回数：年に2回程度	4, 5
半年に1回など定期的に開催時期を決めて、朝・夜などの時間を分けて開催していただけるとよい。場所に関しては電車・バスなどの公共交通機関の便利などところがよいと思う。	4, 5, 12
但馬から神戸まで出るのはなかなか大変なため、小エリアごとの開催・オンライン参加。事業が終わりを迎える1月～3月に実践発表をする。	4, 5, 7
西播磨地域での交流会、年度初めに1回	4, 5, 7, 8
団体同士の活動を見学するツアー、活動日を周知いただく→これであれば、参加できる日に訪問し交流できると思う。	4, 5, 7, 9
①隣接地域エリア：例えば県民局単位や神戸市東部エリア（東灘区&灘区）というエリア別に、活動内容ごとのくくりで、情報共有化の目的で開催することを望む。 ②開催場所：例えば東灘区内であれば、アクセスの良さと東灘区文化センターが最適 ③日時：平日の午後（14～16時頃）がよいと思う。 ④回数：半年に1回で年2回くらいがよいかと思う。	4, 5, 7, 9
・時間自由、出入り自由のサロンのようなもの ・学会のポスターセッションのような場	4, 7
地域別、悩み別、業態別、支援先別など、時間を区切って何回か小グループで、グループを変えて話し合えると有意義であるのかなと思う。	5
他団体との交流会、いろいろな活動を知ることができ、参考になることも多く、よいと考えている。しかし、こちらの年齢のためかもしれないが（昨年の場合）、グループに分かれて一斉に話し合いが始まると、そのザワザワ・ワイワイが会場に広がって、お隣の方の発言も、ましてや机の端の方に至っては必死に聞こうとしても聞き取れず、よく分からないまま終了になってしまった。一方、少し余裕のある会場でのグループ討論では、なるほどと得ることの多いひとときになった。申し訳ないが、会場と人数の加減も考慮していただきたい。	5
日程は早めに教えてほしい。できるだけ居住区（北区）であると参加しやすい。	5
一度行ったような気がしている。早めに場所・日時がわかれば予定が入れやすい。回数は4カ月ごとか3カ月ごとだと思う。5月11日（土）のあとのアンケート集計して決めるのもいい。	5
5～10団体程度の小規模でゆっくり話ができる場があると参加したいと思う。ある程度交流を希望する団体が集まれる場があるといいなと思っている。	5, 10
開催場所は同じでよい。土曜か日曜で年1回を希望。	5, 10
各地区ごとの交流会、交通の便のよいところ、年に1～2回。	5, 12
定期的であれば都合が合う日に出席しやすいかと思う。または、テーマ毎に交流会があれば、興味あるテーマだと参加しやすい。	5, 12
同じようなボランティア内容の団体と交流したい。今の活動の課題：利用者の増やし方、月1でいいかどうか、物価高で資金不足。 宍粟市庄能ふれあいセンターにて月1・第4日曜10時～13時	5, 12
阪神間（近隣）の開催で、できるだけ近場であり、土日開催、年1回程度ありがたい。	5, 8, 9
地域ごとの開催と全体での開催。場所は各コープ店舗（集会室）や公共の施設。3カ月に一度くらい。同じような活動のグループ同士の交流。	7, 11
<まちづくり>	
これまでの活動の実績もあり、各方面からの取材依頼や接触があるので、特段必要性を感じていない。緑化、イベント、見守りなど多くの活動を行っているため、これ以上の範囲を求めず、メンバーで意見を出しながら今やっている内容の見直しや効率化をすすめることが最優先と考えている。	1, 4, 5, 6, 7
活動内容の似た団体と交流したい。	1, 7

Q7. 情報交換できる場について、どのような場であれば参加したいと思いますか？教えてください（例：開催場所、日時、回数など）	
活動内容を共有できる団体間との交流は大切なことだと思う。各団体の活動見学会の実施を提案します。相互の情報を共有し、交流を深め、コラボも視野にお互いに切磋琢磨できるのではないかと。場所はそれぞれの団体の活動現場。回数は年に1回程度。	4, 5, 6, 7
東はりまエリアで交流会や各団体の活動を発表し合えるイベントなどがあれば、是非参加してみたい。	4, 5, 7, 13
電車でアクセスしやすい場所、休日に開催していただくと参加しやすい	7
<防災>	
展示会形式のような関心のある方が誰でも入場できて自由に情報交換ができる交流会。	1, 2, 5, 6, 7
学生が参加しやすい日時であれば…	4, 5, 6, 7
但馬、丹波と神戸まで比較的遠いエリアでも交流会を開いてほしい。	6
とてもありがたい提案だと思う。個人的な希望としては… ※開催場所：交通の便がよいところであればどこでもいい。もし可能であれば地域別に数カ所情報交換の場があればありがたい。 ※日時：平日の午後であれば参加しやすいが、土日のほうが多くの方が参加できるかもしれない。 ※回数：まずは年に？～？回くらいのペースで。	6
<人権>	
年に2回、土日祝に三宮で開催（年にどちらか1回参加を必須とする）。A：エリア（活動拠点）の近い団体同士で交流、B：分野（例えば、「障害」「高齢者」「子ども食堂」「地域おこし」など）で同じような団体同士で交流。 ※分野を超えてエリアで連携・協働できるところもあるし、同じ分野だからこそ、共通理解ができたり、困りごとを共有し解決策（アイデア）を得ることもできると思う。どちらに参加したいかはその団体により異なるので、最低どちらか1回（2回参加もOK）のルールにして選べるとよい。年1回だと人数が多すぎて窮屈でまわりの声もよく聞こえるため集中しにくかった。	2
<多文化共生>	
1. 活動団体の活動情報収集の方策 2. 各イベントの延長上で参加できる日時・場よろしく！	1, 2, 4, 6, 7, 8, 9
人口20～30万人くらいのエリアの交流…「1. 一回目は交流・課題さがし、2. その具体化①、3. その具体化②」の3回。年3回ぐらいの交流。	1, 4, 5
Zoomでの開催。午前中・夕方からの1時間など短時間で、複数回の開催もテーマを1つに絞って、聞くだけの参加もできれば参加しやすいと考える。	1, 4, 5, 6, 7, 9, 12
今まで参加させていただいた交流会で、新しい活動につなげることへのヒントをいただいた。年に2～3回だったら都合がつく限り参加させていただきます。	1, 5, 7
・似通った内容の活動をしている皆様と交流できれば参考になることも多々あると思う。 ・地域ごとの交流でもよいのかと思う ・ZOOMを利用していただけると参加しやすい	2, 4, 5
グループ交流がメインで実施されていることには賛同します。今後、いくつかのジャンル分けをしてのグループ交流が望ましいと思う。主催者側には開催回数が増えることにもなるかもわかりませんが、全体の規模はもう少し小規模の会議で、各団体1名ではなく2～3名ぐらいの参加のほうが、新しいメンバーなども参加しやすくなり有意義な会議になるのではないかと。	3
①対面での交流会であれば日曜日に。代表だけでなく複数で参加できるといいなと思う ②オンラインであれば平日の夜や土日に、同様の趣旨で活動をしている団体と交流できればと思う ③財団の助成から卒業もしくは助成金を減額した実績のある団体の話も聞いてみたい。	3, 4
できるだけ近隣の団体と交流したい。活動内容が似ている団体と交流したい。	3, 9, 12
<子ども育成>	
同じような目的や活動内容のサークル（兵庫県内）があれば是非交流したい。2025年の全国紙芝居まつり宝塚大会開催向け、参加をPRしたいと思う。一緒にイベント開催するなど、今後の活動の発展に繋がったらおもしろいと思う。	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7
同じような活動、親子向けや絵本を通じた活動でつながりづくり、情報交換、共有ができるような場があれば、ヒントにもなるし、いろんな視点から活動を考えていけると思う。	1, 2, 3, 4, 5, 7
昨年度の交流会で同じグループになり情報交換することにより「子どもの防災」を開催させていただいた。交流会に参加して皆さまの素晴らしい活動を知ったことがきっかけとなったので感謝致します。私たちの活動は子どもたちの対応がほとんどで、緊急の食事支援や食材などの支援もよくあるので（回数も多いため）、なかなか思うように交流会には参加できないこともあるが、工夫してできるだけ参加したいと思う。今後参加してくださるスタッフも増えるようにと思っています。	1, 2, 4, 5, 6, 7, 9, 10, 12
ともしびのボランティアグループで人形劇とか同じような活動をしているグループで、人形劇まつりのような催しがあれば是非参加したいと思う。グループのメンバーの勉強にもなるし励みにもなる。	1, 2, 5
遠い所へは行きにくいことがある。近くの同じ活動をされているグループとの交流や情報交換ができる機会があればいいかと思う。	1, 2, 5, 7
団体間の交流も重要であるが、同時に会員（Dr.）募集の『場』や『きっかけ』づくりの場が必要と考える（高齢者も多いため、継続的な入会が必要）。	1, 4, 5, 7
子どもや高齢者が一緒になって楽しめるような交流を望む。	1, 5

Q7. 情報交換できる場について、どのような場であれば参加したいと思いますか？教えてください（例：開催場所、日時、回数など）	
○実際の活動場所・活動の見学会：見学可能な団体・可能日・時間・受入人数のリストを作成し、個別に連絡を取る。 ○見学受入団体において、受入回数に応じて準備対応費用が出るとよいが、必要分を参加費として各団体が設定してもよいと思う。	1, 5, 7, 9
近隣のコープさんなど、月1回程度、大庄元気むらやみなくなる☆そのだなど、コープこうべのコミュニティひろばなど利用するのはいかがでしょうか。	2, 4, 5, 7
今までもいろんな企画があったが、土曜日のことが多く、当グループの開催日が土曜なので参加が難しい。	2, 5
今年度の助成採否通知でのコメントに、同じ地区の他の事業所や社協関連の団体とは連携しているが、そのコメントには「同じ地区で活動している団体との連携を考えていただきたい」という内容をいただいた。それであれば、仕事や活動でどこまで参加できるかわかりませんが、同じ地区同士での場（開催場所はその地区内）があるとよいのでは？と思った。	2, 5, 8, 9
対象者が同じ（私たちの場合小学生）活動をしている団体との交流はありがたい。いろいろ参考になると思う。また、参加者も巻き込んだ発表の場があればうれしい（夏休みくらいまでの土日か、夏休み、それ以降は年度末の作品の練習をするので）。	4, 5
運営者が子育て世代のため、近くで午前中に自宅（明石）に戻れる場所がよい。	4, 5, 12
弊団体が活動している城崎から阪神・播磨地域まで赴くことは、時間的にも金銭的にも容易ではない。市民活動交流会に加えて、ZOOMやLINEオープンチャットなどを活用して、オンライン上に交流・情報交換することができる場があれば幸甚に存じます。また、広く浅く交流することで新たな気づきやつながりを得たいという団体もあれば、特定の分野で活躍されている団体に困りごとを相談してみたいという団体もあるかと思うが、各団体の活動の内容や目的などを参考に、交流会などのテーマを明示して行うこともおもしろいかもしれない。	4, 5, 6
1) 広域での開催（今の市民交流会）：事例の発表・収集の場として位置づけてはどうか？ 遠隔地の団体とつながるのはむずかしいが、活動事例を共有するのは団体運営にとっては有意義と考える。 2) 地域での開催：団体同士の連携のため、フェイスtoフェイスの関係を創る場として位置付けてはどうか？ 県民局単位エリアでの開催、できれば市町村単位での開催を計画してもらえないか？ 3) 日時について：平日昼間の開催は働く人にとって参加しにくい（行政主催の会合などは現にシニア層しか出席者がいないのが現状）。	4, 5, 6, 7, 9, 13
開催場所：三宮あたり 日時：土曜日が望ましい	4, 5, 7
同じような活動（例えば、子どもを対象としたボランティア）の集まりがあれば、有意義な情報交換ができると思う。頻度は多いと負担になると思うが、年1回では少ないと感じるため、半年に一度程度が適当か。	4, 5, 7, 9
地域ごと、または活動が似た（対象など）団体との交流。あとは、去年の会場はとてもきれいでよかったが、他グループとの距離も近かったので、スペースがもう少しほしい。	4, 5, 9
子連れ（土日の場合）でもどなたか見てくださるとうれしい。平日なら10:30~12:00（駅から近い場所、住吉・三宮・神戸など）、土日祝ならZoom、午後。	5
助成金の説明会の折に、少し時間をとって交流するのはどうでしょうか。	5
以前ともしび財団から補助金をいただいていたが、しばらくの間いただいていた。今年からまたお世話になります。様子もわからないのでお答えできない。	5
グループから1人の参加はなかなか荷の重いものであるが、人数的なことからはあまり多数は無理なので、説明会のように場所・日時などいくつかの会に分け、複数参加できるとよい。どうしても担当者ばかりの参加になりがちなので、他のメンバーにも参加の機会、きっかけとなるのではないかとと思う。	5
お昼は忙しくなかなか時間がないので、夜食事をしながらの交流会であれば参加したい。グループでの交流の場合、話したい人ばかりが自分の話をしたがるので、時間がもったいなく感じる。自分が興味のある方と自由に話もしたいし、企業やコープの方とも交流したい。	5
開催場所は市内がありがたい。気軽に話し合えるような場なら、メンバーも参加しやすい。	5
開催場所：神戸三宮近辺、阪神間 日時：土日午後、Zoom（オンライン）なら夜でも可 回数：年4回（2~3カ月に一度、季節ごと、イベントの情報シェアできるように）	5, 12
①同一地域の団体同士の交流（連携できるかもしれないから） ②同様の活動団体同士の交流（連携できるかもしれないから） ③様々な団体同士の交流（思わぬ発見がありそうだから）	5, 12
毎年お世話になりありがとうございます。若いメンバーを募集したいと思うが、なかなかよい機会がない。学生のサークルなどと交流したい。	5, 7
<環境>	
三木市内で気軽に参加できる場が望ましい。	1, 8
当団体の活動地は広く、一般の人々の来訪、活動場所の提供を歓迎している。高齢者、障がい児・者、子ども、不登校生徒など、これまでも活動地として利用いただいている。里山での活動を希望する他団体があれば受け入れたと考えている。	2, 5, 8, 9, 12
現状のままでもいいと思っている。	4, 8
「パネル展示とガイダンス」のような交流会がよい。	5, 6, 7, 8
団体から1人だけの参加ではなく、複数人の参加が可能な交流であればうれしい。	5, 8
・同じボランティア団体としての課題の共有や工夫を知りたい ・市民活動交流会は有意義であった。同様の開催を希望する。	6, 8

Q7. 情報交換できる場について、どのような場であれば参加したいと思いますか？教えてください（例：開催場所、日時、回数など）

各団体でオープンイベントや体験参加を行っているなら、その情報を集めて、貴団体から発信したらどうか。 6, 8

同様の活動内容の団体と情報交換の場があればありがたい。中央区、灘区、東灘区あたりで日程が合えば参加したいと思う。 7, 8

開催場所はできれば但馬で、土日なら参加しやすい。 7, 8

広報の仕方及び会費の増やし方などの工夫。開催場所までの交通費があまりかからないこと。 8

参加者の取り組んでいる活動の分野別交流会を、年2回程度、神戸市内でお願いしたい。 8